

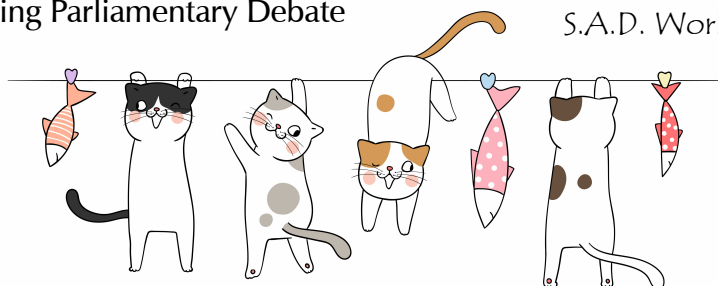
英語ディベート練習ハンドブック[即興型]

An Introduction to Debating in English

小林 良裕 [著]

[Book 4] Practicing Parliamentary Debate

S.A.D. Works



はじめに

この冊子の目標は、この冊子を使って英語ディベートを練習してくれた人が：

- ・英語力がちゃんと伸びて、
- ・毎日の生活でより相手の話をしっかり聞いて、自分の意見を言えるようになり、
- ・世の中の幅広いことについて、興味を持ち調べるようになり、
- ・これから先何年も英語ディベートを趣味にして、広い交友関係を築いてもらう、

ことにあります。大会で勝つための練習方法については特に触れてありません。何よりも練習を楽しみ、英語をたくさん話す機会を多くの人に持って貰いたいと思い、この冊子を作成しました、

この冊子では、パラメンタリーディベートの形式を踏まえた練習を行います。パラメンタリーディベートは、世界中ヨーロッパでもアジアでもアフリカでも主流の競技ディベートの形式で、ここ 15 年間で日本でも大学生の間で競技人口が一番大きくなった形式です。20 年ほど前まで日本では、アメリカで裁判の訓練用に始まったディベート形式のみが知られていましたが、より練習がしやすく、楽しめるディベート形式として、パラメンタリーディベートは爆発的に広まりました（この 2 つの種類の競技ディベートのより詳しい比較については、巻末付録[G]を参照してください）。

パラメンタリーディベートとは何を指すのか、狭い意味で言えばイギリスの大学で議会での答弁訓練のために始まり、現在では大学生の世界大会で使われている形式の競技ディベートです(British Parliamentary Style と呼ばれます)。また広い意味で日本国内では、この大学生世界大会の形式をより練習しやすくアレンジした、North American Style そして Asian Style などもパラメンタリーディベートに含めることが一般的です。この用語の定義に関する問題を避けるために、「パラメンタリーディベート」という言葉を使わずに、あえて「即興型英語ディベート」という呼び方をしている人もいます。（最近の流れに従って、この冊子でもそうしました）

パラメンタリーディベートでは、聴衆の理性に訴えかけ言葉で説得を試みようとする限り「こう話さなければならぬ」というきまりはありません。しかしこのハンドブックでは、まずは話し方の型を学んで貰い、それからいろいろな個性のあるスピーチスタイルを目指してもらえればと思います。

野球の練習をするときの素振りを考えて下さい。ボールを前に飛ばす限り、どうバットを振っても本来は構わないはずですが、しかし、長年先輩達が受け継いできた、効率の良い振り方というものがあります。どんな偉大な選手も、まずはこの型を知ってから独自の技術を磨いて大成しました。ディベートも、まずは型を学んでください。「基本的にどう話しても構わない」という原則を存分に楽しむ機会は、練習を続けている限り、いつか必ずあるはずですが。

この冊子を使ってくれる人として、まずは自分が高校で教える生徒の人たちを頭に置きました。ですが、楽しみのための囲碁や将棋を始めるのは、小さいときでも、大人になってからでも構わないように、大学生そして社会人の方にもぜひこの冊子を使い、練習して頂ければと考えています。

最後に、英語でディベートなんてできるのか心配な人にアドバイスがあります。日本語でディベートをしたことがないのに、英語で出来るようになるはずがない、と思っているかもしれません。しかし、和食の料理が出来なくても、スパゲッティを茹でることは大抵の人には出来るのと同様、制限された範囲であれば、何とか出来るものです。自分は英語ディベートの試合を、1500 回ぐらいは選手またはジャッジとして経験しましたが、日本語の試合は、これまでの人生で 20 試合ほどを見ただけです。

英語ディベートは難しいのでは、と思っている人もいると思います。英語ディベートは、ある程度練習をしなければもちろん出来るようにはなりません。しかし、それはサッカーにしろ、チェスにしろ、生花にしろ、何を練習する上でも言えることです。何事も、まずは数ヶ月続けてみてください。きっと、びっくりするぐらい英語が聞き取れるように、そして話せるようになっていくと思います。大会に出て優勝するのはちょっと難しいかもしれませんが、良いディベートの試合がどう良いのか、分かって楽しめるようにはなっているはずですが。

CONTENTS:

Part 1. スピーチ練習	6
Section 1. 1 分間スピーチ	6
Section 2. 自己紹介スピーチ	8
Section 3. 質問をする	12
Part 2. 意見を伝える	13
Section 1. 「～すべき」という議論	13
Section 2. 「～すべきではない」という議論	16
Section 3. 一般的な議論の構成(ARE の構成)	18
Part 3. 相手の意見に対応する	22
Section 1. POI をする	22
Section 2. 反論のフォーマット	23
Section 3. 書いてディベート	24
Section 4. 「Summary & Refute」	26
Part 4. 簡単な試合をする	28
Section 1. 1 人 1 役のフォーマット	28
Section 2. 簡易 Asian Style (World Schools)	30
Part 5. North American Style	32
Section 1. North American Style の形式(簡易版)	32
Section 2. Reply Speech	33
Section 3. Reply Speech の準備	34
Section 4. 論題の定義とチームライン	36
Section 5. 各スピーチのフォーマット	37
(1) Prime Minister Constructive Speech	38
(2) Leader of the Opposition Constructive Speech	41
(3) Member Speeches	45

Part 6. Asian Style & BP Style	49
Section 1. Asian Style	49
[Whip Speaker 用の表現集]	51
Section 2. British Parliamentary(BP) Style	52
Part 7. 勝敗の決め方	54
巻末付録 / APPENDIX	57
[A] 表現集	58
[B] 試合の流れのアウトライン(NA 形式)	60
[C] Manual for Chairperson (議長役の人の表現集)	62
[D] 練習用論題(学校に関するもの)	64
[E] 練習用論題(一般的なもの)	66
[F] 紙上モデルディベート「投票の義務化」	72
(1) Prime Minister Constructive Speech	72
(2) Leader of the Opposition Constructive Speech	76
(3) Member of the Government Constructive Speech	78
(4) Member of the Opposition Constructive Speech	81
(5) Leader of the Opposition Reply Speech	83
(6) Prime Minister Reply Speech	85
[G] パーラメンタリーディベートで身に付く能力について	88
[H] 新緑杯 (高校生対象の練習大会)参考資料	89
(1) 新緑杯のルールに関する重要事項の抜粋	89
(2) 新緑杯スコアシート	92
[I] フローシート(North American)	93
[J] 授業で行う Short Debate [北原隆志先生作成のものを編集して掲載]	94

◆ Part 1. スピーチ練習 / Section 1 「1 分間スピーチ」

ディベートを楽しむには、ある程度の長さの英語を話せる必要があります。その練習として、1 分間のスピーチ発表をしましょう。トピックを変え何度も繰り返し、よりたくさん話せるようになりましょう。

Useful Expressions

- I think <topic> is [good / bad] .
- This is because
- I have [two / three] reasons.
The [first / second / third] reason is that
- Let me give you an example.
- That's all. Thank you.



【TOPIC A: High School Life (高校生活)】

1	Studying at a girls' (or boys') high school, good or bad? (男女別学の高校で学ぶこと)
2	School uniform, good or bad? (制服)
3	Going to cram school, good or bad? (塾に通うこと)
4	School trips to foreign countries, good or bad? (外国への修学旅行)
5	Having a part-time job, good or bad? (アルバイトをすること)
6	Joining a sport team, good or bad? (運動部に加わること)

【TOPIC B: (New) Technologies (新しい技術)】

7	Playing TV games, good or bad? (テレビゲームをすること)
8	Online shopping, good or bad? (ネット通販)
9	Using the Internet, good or bad? (インターネットを使うこと)
10	Writing an essay on PC, good or bad? (パソコンを使って作文をすること)
11	Text messaging, good or bad? (携帯でのメール送信)
12	Using a SNS site, good or bad? (Facebook や twitter などの SNS サイトの利用)

【TOPIC C: Everyday Life (日常生活)】

13	Having a pet, good or bad? (ペットを飼うこと)
14	Living alone, good or bad? (一人暮らし)
15	Living in a country, good or bad? (田舎で暮らすこと)
16	Getting early in the morning (around 4 a.m.), good or bad? (早起きすること。朝 4 時ぐらい)
17	Reading comic books, good or bad? (漫画を読むこと)
18	Having a gorgeous wedding ceremony, good or bad? (豪華な結婚式を挙げること)

Evaluation Sheet (評価用紙)

Word Counter List (以下の数字を手でなぞって、1分あたりの発話語数を数えます)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
101	102	103	104	105	106	107	108	109	110
111	112	113	114	115	116	117	118	119	120
121	122	123	124	125	126	127	128	129	130
131	132	133	134	135	136	137	138	139	140
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150



	Date	Topic	WPM	*Manner (聴き取り易さ)	*Matter (内容)
1	/			[A B C]	[A B C]
2	/			[A B C]	[A B C]
3	/			[A B C]	[A B C]
4	/			[A B C]	[A B C]
5	/			[A B C]	[A B C]
6	/			[A B C]	[A B C]
7	/			[A B C]	[A B C]
8	/			[A B C]	[A B C]
9	/			[A B C]	[A B C]
10	/			[A B C]	[A B C]
11	/			[A B C]	[A B C]
12	/			[A B C]	[A B C]
13	/			[A B C]	[A B C]

*Manner そして Matter に関しては、指示があった時だけ評価します。

◆ Part 1. スピーチ練習 / Section 2 「自己紹介スピーチ」

スピーチでは以下の構成を持っていることが期待されます（ディベートの場合も同様です）：

スピーチの構成

I. Introduction（導入）

- A. Greeting / Opening Line（あいさつ・出だしの文句）
- B. Introduction of the topic（トピックの導入）
- C. Thesis statement（スピーチ全体の要旨をまとめた1文、主題文）
- D. Signposting（これから話す内容の構成の説明）

II. Body（本論）

- A. Explanation of the 1st subtopic（サブトピックの説明）
- B. Explanation of the other subtopics（他のサブトピックの説明）
- C. ……

III. Conclusion（結論）

- A. Summary（簡単な要約。主題文を繰り返す程度で）
- B. Indication of the speech end（スピーチの終わりの文句・挨拶）

【最低限度の表現集】

[1] Introduction(導入部分)

あいさつ	Hello Everyone. Good [morning / afternoon] everyone.
トピックの導入	I am going to talk about ～ .
スピーチ構成の説明	I am going to tell you three things. First, ～. Second, ～ . Finally ～ .

[2] Body(本論部分)

出だしの表現	[First, Second, Finally], ～ .
具体例の追加	I will give you some examples.

[3] Conclusion (結論部分)

結論部分の開始表現	In conclusion, ～ . / In summary ～ .
スピーチの終わり	Thank you.

1) 自己紹介スピーチ

次のページのワークシートを使って、以下の中からトピックを1つ選んで 1～2 分間のスピーチを準備して下さい。準備が終わったら、ストップウォッチで時間を計りながら、話してみてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------------|
| ① My favorite book | ⑥ My happiest moment in life |
| ② My favorite food / drink | ⑦ What I have achieved last year |
| ③ My favorite place | ⑧ My best friend |
| ④ My favorite animal | ⑨ My family |
| ⑤ My favorite pastime | ⑩ My school |

2) 「私のオススメ」スピーチ

以下のトピックから1つ選んで、聞いている人に何かを薦めるスピーチをして下さい。スピーチ時間は同じく 1～2 分間です。

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| ① You should eat ～ . | ④ You should watch ～ . |
| ② You should read ～ . | ⑤ You should buy ～ . |
| ③ You should visit ～ . | ⑥ You should learn how to ～ . |

3) くじ引きスピーチ

4人程度のグループをで行います。スピーチのトピックをそれぞれ紙に書きます。くじ引きの要領でそれぞれ何のトピックで発表するか決めて下さい。

練習のポイント



- ・発表で使うメモは、箇条書き程度で、全部書こうとはしない！
- ・ゆっくり大きな声で、単純な構造の短い文で、簡単な語彙で、話そう。
- ・練習なので、少し話を作ってみたり、誇張したりするなど話す内容は気楽に考えてください。

自己紹介スピーチの例

◆ My favorite Animal

Hello everyone. My topic is “my favorite animal” and it is a dog. In my speech, I am going to tell you that dogs are very useful and good friends to us. First, I will tell you how they help people. Second, how fun it is to play with them. Third, how they make us more responsible people. So, let me explain one by one.

First, dogs can help people. I will give you some examples. As you know, dogs can guide people whose eyes are not good. With the help of dogs, those people can walk outside safely. Also, dogs can protect your home at night. If a thief breaks into your home, dogs will bark at him. In this way, dogs can warn you of the danger and protect your house and your life.

Second, dogs are good friends to us. You can play with your dog. You can take a walk in the park with your dog. You can play Frisbee with your dog there. To play with your human friends can be sometimes difficult because we have other arrangements and a lot of homework. However, you will never feel lonely if you have a dog. In contrast to cats and most of the other animals, dogs need someone who takes care of them. You can be the one.

Finally, having a dog teaches us what it takes to be a responsible person. Having a dog can be extremely difficult because he or she wants to take a walk even when it is raining. We must give food to them. After sharing so much time together, they would die someday. They are not the TV games, which we can stop playing and simply throw away. They are living. As the owner of my dog, I have to be responsible for him. In this way, dogs teach us some important lessons on what it takes to be a responsible person.

In summary, if you have a dog, you will be able to have many great experiences and learn important lessons as I told you before. So, let's get a dog!

(352 words / 小野暢思さんが中学3年生の時に書きました)

英語ディベートを続けた小野さんが辿り着いたところ

上のスピーチを中学3年生の時に書いた小野さんですが、その後7年間英語ディベートを続け、2014年の年末に行われた大学生世界大会(World University Debating Championship)にて、英語を第2言語として使う人の部門(ESL部門)で準々決勝に進出しました。日本のチームがESL部門で予選を通過することは、9年ぶりの快挙でした。また、予選でのチーム得点は、日本のチームの過去最高得点に並ぶものでした。個人成績としては英語を外国語として使用する人の部門で、最優秀個人賞4位を受賞しました。

小野さんは海外留学経験はなく、英語を外国語として中学から学び始めました。

そんな小野さんが、英語ディベートに興味を持っているけれども、果たして本当に上手になれるのか不安を持っている人たちに、こんなメッセージを送ってくれました。「帰国子女じゃない純ジャパのチームでも世界でも充分戦えるのが示せたことが今回の世界大会の成果の大きな意義かと思います。日本人でもネイティブは必要で大学のチームに議論の質では充分勝てます。もちろん複雑な議論を伝えるための英語力、レトリックは必要不可欠ですけど、ネイティブと同じ早さ、情報量で戦う必要はないんです」小野さんがここまで辿り着くには、並外れた努力がありました。しかし、外国語として日本で英語を学んでいる人でも、十分世界で通用するディベート能力は身に付き得るということを証明してくれました。



Presenting a Structured Speech

I) Opening Line: Attention getter

Good (morning / afternoon / evening) everyone.

.....

.....

II) Introduction: Plan of your speech

(A) Topic: I am going to talk about

(B) Thesis Statement:

.....

(C) Signposts 1st Sub-topic:

2nd Sub-topic:

III) Body: Saying what you want to say

1st Sub-topic:

.....

.....

2nd Sub-topic:

.....

.....

IV) Conclusion: Summary and the indication of the end of your speech

.....

.....

Thank you.

◆ Part 1. スピーチ練習 / Section 3 「質問をする」

誰かのスピーチを聞き、質問をします。

- 1) まずは、スピーチが終わった後で、30 秒～1 分ほど質問タイムを持ちましょう。必ず質問を 1 人 1 回する。質問の数が少なかった人が次にスピーチをする。面白おかしい質問をしても構わないことにするなど、盛り上げる工夫をしてみてください。
- 2) 次の練習として、スピーチの途中で質問をします。質問をする人は「May I ask you a question / I have a question」などと言って、質問をする許可を求めてください。スピーチをしている人は、「Yes, please」などと言って許可をするか、「Not now」などと言って断ってください。

■ 質問用表現集

(1) 時間・頻度・数に関して

- ・ How often do you ~ ? 「どれだけ頻繁に～しますか？」
- ・ When did you do that? 「いつそれをしましたか？」
- ・ When will you do ~ next time? 「次はいつ～しますか？」
- ・ How long does it take to do that? 「それをするのにどれだけ時間がかかりますか？」
- ・ How many ~ do you have? 「どれだけ～を持っていますか？」

(2) 具体化を求める

- ・ Could you give me some example? 「具体例をもらえますか？」
- ・ Could you be more specific? 「もう少し子細に話してくれませんか？」
- ・ What do you mean by saying ~ ? 「～という言葉で何を意味しているのですか？」

(3) 人・物の様態に関して

- ・ [Who / What] is ~? 「～とは [誰/何] ですか？」
- ・ What is [he / she] like? 「その人はどんな人ですか？」
- ・ How [cute など形容詞] is ~? 「～はどれだけ可愛いのでしょうか？」

(4) 場所に関して

- ・ How can I get there? 「どうやってそこに行けますか？」
- ・ How long does it take to get there? 「そこに行くのにどれくらいかかりますか？」
- ・ How far is it from ~ ? 「～からどれくらい遠いのですか？」

(5) 理由を聞く

- ・ Why do you think so? 「どうしてあなたはそう思うのですか？」
- ・ Why did you ~ ? 「どうして～したのですか？」

◆ Part 2 意見を伝える / Section 1 「～すべき」という議論

「～をするべきだ」と人に主張する場合、スピーチは一般的に以下の構成をとります：

- 1 現状の問題の説明（政策を導入する前の世界の説明）
 - 2 その問題が、ある政策によってどう解決するか説明(政策導入後の世界の説明)
 - 3 その問題を解決することの重要性の説明
- (*2 と 3 の順番は伝わりやすさの観点から前後させて構いません)

下のスピーチ原稿を見て、この構成を確認してください。原稿では、「花火大会を禁止するべきだ」という案が主張されています。

Structure (構成)	Speech Script (スピーチ原稿)
Greeting (あいさつ) Introduction of topic (トピックの導入)	Hello everyone. Today, I want to argue that we should <u>ban(禁止する)</u> firework festivals (花火大会) in Japan.
Showing the structure of speech (スピーチの構成の提示)	I have one reason to support my opinion.
Signposting (議論の名前の提示)	The reason is <u>the noise</u> . Let me explain
Analysis of the current situation (現状分析 / 政策導入前の世界)	When we have firework festivals, many of us <u>suffer from (～に苦しむ)</u> the noise. For example, I usually go to bed before 9 pm. However, on the night of a firework festival, I cannot sleep because it is too noisy.
Explanation of how the problem will be solved. (問題解決の仕組み / 政策導入後の世界)	If there is no firework festival, it will get much calmer at night in summer.
Explanation of why solving this problem is important. (問題解決の重要性)	Why is this point important? This is because we have the right to enjoy quiet nights and have a good sleep.
Closing (スピーチの終わり)	For this reason, I think we should ban firework festivals in Japan. Thank you.

それでは次に下のトピックから1つ選び、議論を含んだスピーチ原稿を用意してください(必ず賛成の立場で書いてください)。スピーチは、説得力があるものよりも、聞いていて面白い、思わず笑ってしまう突飛な内容にしてみてください。次ページのフォームを使うこと。

Topic for your Speech (選んだトピックの [] にチェックを入れること)

- ① [] There should be no homework assignment to students.
- ② [] Marriage registration should be renewed every five years.
- ③ [] Our school should keep penguins in the swimming pool.
- ④ [] We should ban the giving of *Giri Chocolate* on St. Valentines' Days.
- ⑤ [] We should cancel Christmas.

【議論の思い付き方】

まずは、そのトピックに関してどんな「登場人物」がいるのかを考えます。例えば「義理チョコの禁止」では、以下の人が関わってくると考えられます：

[肯定側の場合] 義理チョコの用意を面倒だと思っていた人、義理チョコを食べて虫歯になる人、義理チョコを本命と勘違いして涙する男子、チョコレートが嫌いな人、

[否定側の場合] 義理チョコしかもらえない人、チョコレート会社、歯医者さん、義理チョコのふりをして実は本命チョコを渡すつもりだった人、年中行事として楽しみにしていた人

そして、それぞれの登場人物ごとにどんなメリットがあるかを考え、その中で一番説得力がありそう(または今回の課題では、面白そう)な議論を選んで書いてください。

【議論の名前・標識(signpost)の作り方】

- 1) 「より良い～」： <比較級 + 名詞>

“better safety” “better economy” “better fashion sense”
“better chances to learn about animals” “better enjoyment”

- 2) 「～を…する」： <他動詞の名詞形 + 名詞>

“saving money” “promoting cultural understanding”
“prevention of fights” “making more friends”

- 3) 名詞のみ：(上のどちらとも思いつかない場合のみ使って下さい)

“health” “bad tooth” “poor boys”

Argumentative Speech(1) (Affirmative Side)
--

Speech Script		Structure	
Hello everyone. Today, I want to argue that 		自分が肯定する論題を提示します。	
I have one reason to support my opinion.		スピーチ構成を示します。	
The reason is “ ”. Let me explain		理由を新聞の見出しのように、名詞で簡潔に述べます。	
Problem (Before)	We have a problem. 	現状で、どのような問題があるのか説明します。	
	Then, if we introduce this plan, we can solve this problem as follows.		その政策を導入すると、どのような仕組みで問題が解決するのか説明します。
	Why is this point important? 		
For this reason, we should take this plan. Thank you.		スピーチ終了	

◆ Part 2 意見を伝える / Section 2 「～すべきでない」という議論

今度は、否定側の議論（「～をするべき」という論題に反対する議論）を用意します。ある政策の是非に関して、否定側の議論はふつう以下の構成を持ちます：

- | |
|--|
| 1 現状の良い点の説明（政策が導入される前の世界）。
2 その良い点が、ある案によってどう失われるかの因果関係の説明（政策導入後の世界）
3 その良い点が失われることがどれだけ深刻かの説明 |
|--|

以下の論題について（「～すべき」というようなディベートで使うトピックは、Motion 論題・動議と呼ばれます。以下からはこの表現を使います）、続く否定側の議論を読み、このスピーチ構成を確認して下さい。

Motion: The first period of high school should start at 7:30.

（私たちの高校の 1 時間目は 7 時半に始まるようにしよう）

読み終わったら、次は先ほど肯定側で議論を作ったのと同じ論題で、今度は反対側の議論を作して下さい。次ページの用紙に書き込んで下さい。

【否定側の議論例】

Speech Script		
Hello everyone. I was given the motion (topic) that the first period of high school should start at 7:30. I strongly oppose this idea.		
I have one reason.		
The argument is "more students to sleep in class". Let me explain		
	Before	Under the current situation, we see no students sleeping in class. For example, I visited a class yesterday. Everyone was concentrating on the class. I was very impressed. So, we have no problem on this point now.
	After	However, if we introduce this plan, we will have a problem. Students will sleep during class. Students will need to wake up earlier than now. Their sleep time will be about one hour shorter than now. Then, they will start to sleep during class.
	Importance	This is a serious problem because sleepy students cannot learn anything from the class. Their academic achievement will suffer.
For this reason, we <u>should not</u> take this plan. Thank you.		

Argumentative Speech (2) (Negative Side)

Speech Script		Structure	
Hello everyone. Today, we are given the motion (topic) that And I strongly oppose this idea.		自分がその採択を否定する論題を提示します。	
I have one reason.		スピーチ構成を示します。	
The argument is “ ”. Let me explain.		理由を新聞の見出しのように、名詞で簡潔に述べます。	
	Before	Under the current situation, 	現状は、どのような点で望ましい状態であるのか説明します。
	After	Then, if we introduce this plan, we will have a problem. 	その政策を導入すると、どのような仕組みでその現状の良さが失われるのか説明します。
	Importance / Seriousness	Why is this a serious problem? 	どうしてこの良さが損なわれることが深刻な事態であるのか説明します。
For this reason, we <u>should not</u> take this plan. Thank you.		スピーチ終了	

◆ Part 2 意見を伝える / Section 3 一般的な議論の構成 (ARE の構成)

ある政策の導入の是非を問う以外で、より一般的に「私はこう考える」と述べる場合は、その主張 (Assertion) に、根拠 (Support) を加えます。根拠には一般に、論証 (Reasoning) と証拠 (Evidence) という 2 つの要素が含まれます。これをまとめて、ARE (Assertion, Reasoning, and Evidence) の構成と呼ぶことがあります。

議論 (Argument) = 主張 (Assertion) + [論証 (Reasoning) + 証拠 (Evidence)]

*用語は無理に覚える必要はありません。人により用語は異なります。

以下のスピーチ原稿を見て、この構成を確認してください。原稿では「高校でバレンタインの日にチョコをあげることを禁止するべきだ」という論題を肯定する議論が 1 つ含まれます。

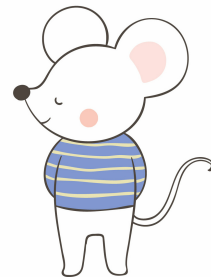
Structure (構成)		Speech Script (スピーチ原稿)
Greeting (あいさつ) Introduction of topic (トピックの導入)		Good morning everyone. Today, I want to talk about a very important issue in our school. It is about what we do on the February 14th. Yes, it is about St. Valentine's Day.
Motion (論題の提示)		I believe that the giving of chocolate on St. Valentine's Day should be banned in our school.
Speech structure (構成)		I will give you one argument.
Signposting (議論の名前)		My argument is "psychological harm on poor boys".
Argument (議論)	Assertion (主張)	I will explain to you that the event should be banned because St. Valentine's Day makes unlucky boys feel sorry for themselves.
	Reasoning (論証)	What is St Valentine's day? On that day, girls give chocolate to boys. This makes boys feel really good. You feel being cared and respected by your female friends. Also, the number of chocolate gifts you get tells you how much popular you are. However, please imagine the situation when you do not get any chocolate at all. You may be depressed. You may think that no one likes you. It is a nightmare.
	Evidence (証拠)	For example, I could not get any chocolate this year. Because of this, I got sick and had to be absent from school for several days.
*Importance(重要性) / Relevancy(関連性)		Why is this point important? This is because schools should provide students the best learning environment. If celebrating St. Valentines' Day makes it difficult for some innocent boys to study, it should be banned. Schools are primarily the places for studying.
Closing (スピーチの終わり)		For this reason, I beg to propose. Thank you.

【論証(Reasoning)の作り方】

論証(Reasoning)は、聞き手または読み手が受け入れてくれるであろう命題を組み合わせて、どうしてその主張が成り立つのか順を追って説明します。左の例ではまず、“What is St. Valentine’s Day?”と問い、それがどのような役割を果たしているか説明しています。つまり、もらえるチョコレートの数とその人の人気を表す、ということです。そして次に、もらえない男の子はどう感じるだろうか説明があります。クラスメートに人気が無いということになり、精神的なショックを受けてしまう、と述べられています。

他に論証の例をあげると、「風が吹けばおけ屋が儲かる」という江戸時代のことわざや、カオス理論の説明でよく用いられる「北京の蝶の羽ばたきが、ニューヨークで嵐を起こす」という主張が参考になります。それぞれどうして成り立つのか一見分かりませんが、一般に正しいと思える命題をいくつも提示することで、原因と結果の関係が成り立つと示せます。例えば、「風が吹けば～」には以下の論証が与えられています：

- ・ 風が吹くと、砂ぼこりが立つ。
- ・ 砂ぼこりが目に入って、こすってしまい、目の悪くなる方が増える。
- ・ 目の悪い方でも活躍できる職業である、三味線弾きになる人が増える。
- ・ 三味線を作るため、材料となるネコがたくさん捕まえられる。
- ・ ネコがいなくなると、ネズミが増える。
- ・ ネズミはおけをかじる。
- ・ ゆえに、おけ屋が儲かる。



ずいぶん飛躍した内容も含んでいますが、なるほどそうかもな、とも理屈の上では納得させられるかもしれません。論証ではこの様に、一般に正しいと認識されている情報を組み合わせて、主張がなぜ成り立つのかを示します。論証とは何か比喩的に説明すると、ある出発点から到着点までの道筋の説明だと思ってください。「地球温暖化が進むと、アイスクリーム会社の業績が上がる」という意見があるとした場合、この場合は「地球温暖化が進む」というスタート地点から、「アイスクリーム会社の業績が上がる」というゴールに至るまで、その途中の道筋を説明するのが論証だと言えます。

【重要性(Importance) / 関連性(Relevancy)を付け加えること】

ある意見を受け入れて貰うためには、複数の議論を使うこともあるでしょう。例えば、今日の夕ご飯はカレーライスにしよう、という意見を受け入れて貰うために、「カレーは作るのが簡単」「カレーはみんな大好き」「カレーは作るのにそんなに金がかからない」という 3 つの別個の議論を出すことがあるかもしれません。特にこの様に複数の議論を使って 1 つの意見を述べる際に、それぞれの議論がどうして最終的に受け入れて欲しい意見を肯定することに繋がるのか説明した方がよい場合もあります。

カレーライスの例で言えば、「カレーは作るのが簡単」という議論自体は受け入れて貰えたとして、それが夕ご飯をカレーにするべきだということとどう繋がるのでしょうか。例えば「今日は疲れていて夕食は簡単に済ませたい。それで手軽に作れるという点は重要であり、この点カレーライスが好ましい」と言えるでしょう。この様に、議論と最終的に受け入れて欲しい意見との関連性を述べる事で、より納得のいく説明ができるようになるでしょう。

1) 論証を説明する練習

論証を作る練習として以下の課題に取り組んで下さい：

- ① あなたの家から学校までの道筋を、英語で誰かに説明して下さい。
- ② “If you have a younger brother or sister, you would be a more responsible person” という意見の論証を誰かに説明してください。
- ③ “If you have a boyfriend or girlfriend, your life would be happier” という意見の論証を誰かに説明して下さい。

【論証のより分かりやすい説明の仕方】

論証をより分かりやすくするためには、内容をさらに大まかに 2 つあるいは 3 つのブロックに分けてスピーチすると良いでしょう。例えば家から学校までの行き方を説明する際に、電車を使って通学しているのなら、家から駅まで、出発駅から到着駅まで、そして駅から学校までという 3 つの段階(steps / levels)に区切って説明するとより分かりやすくなります (“I will explain this in two steps” などと言います)。

論証の区切り方の他の例を示せば、ある行動でどんな変化が起こるのか説明する場合に、まず現状の問題を説明し、その次にもしその行動をとったらどうその問題が解決するのか、行動の前後を明確に区切れば分かりやすくなるでしょう (ダイエット食品・機具の広告でよく見かける「Before / After」の説明と同じ構成で、つまりは既に練習した「～すべき」という議論の構成です)。この様に、論証をブロックに分ける習慣をつけると、より複雑な議論も比較的伝え易くなります。

2) 論証を段階に分けて説明する練習

論証を作る練習として以下の課題に取り組んで下さい：

- ① あなたの家から学校までの道筋を、今度は明確に幾つかの段階(step / level) に分けて英語で説明して下さい。
- ② 同様に、“If people use bicycles instead of cars, polar bears(ホッキョクグマ) will get happier.” という意見の論証を、幾つかの段階に分けて説明して下さい。

3) スピーチ発表練習

以下の論題から 1 つ選び、次のフォームを使ってスピーチ発表をして下さい。

- (1) School libraries should have comic books.
- (2) We should not give New Year's allowance (お年玉) to children.
- (3) Children should be given money as their birthday present.
- (4) Corporal punishment(体罰) is justifiable.
- (5) Students should be allowed to choose their own teachers in school.
- (6) There should be no final examinations.
- (7) Students should join an athletic club.
- (8) Parents are the best teachers.

Argumentative Speech (3) (ARE-structure)

Speech Script		Structure
Hello everyone. Today, I strongly believe that		自分が最終的に伝えたい意見を提示します。
I have one reason.		スピーチ構成を示します。
The argument is “ ”. Let me explain.		議論を新聞の見出しのように、名詞で簡潔に述べます。
	Assertion	I will explain to you that
	Reasoning	Let me explain how this is true.
	Evidence	I will give you some example(s).
Why is this point important? This is because		議論の関連性・重要性を説明します。
For this reason, we <u>should not</u> follow this plan. Thank you.		スピーチ終了

◆ Part 3 相手の意見に対応する / Section 1 「POI をする」

Part 2 で用意した原稿を誰かに発表してもらい、スピーチを聞き、そして質問をします。ペアメンタリーディベートでの質問は、Point of Information(POI、ピーオーアイまたはポイと略称します)。POI の手順は：

- 1) 質問をしたい人はまず席から立ち「Point」と言って、質問をする許可を求めます。
- 2) スピーチをしている人は、「Yes, Please」と言って許可をするか、「No thank you」または「Later, please (あとで)」と言って断ってください。
- 3) POI では、質問は 15 秒以内に終えないといけません。
- 4) POI に対して、もちろん答えることがスピーカーには期待されます。
- 5) 一回断られたら、15 秒～30 秒ぐらい間を置いてから再び試みて下さい。

以下にまとめられたように POI は単なる質問ではなく相手の議論の弱点を指摘するものです。

■ POI で指摘すべきポイント

- ◇ 因果関係の飛躍を指摘する。
 - ・ You said A leads to B. However, that is just your imagination. Tell us more.
- ◇ 根拠のないただの意見を指摘する。
 - ・ You said ～, but that is just your opinion.
- ◇ 反証を述べる。
 - ・ You said ～, but <反証となる例> . What do you think?

■ POI 用表現集

- ◇ POI を求める
 - ・ Point of information! / Point!
- ◇ POI を受ける・断る
 - ・ Yes, please / Go ahead
 - ・ No thank you / Please take your seat / Later please / I will take your point later.
- ◇ POI の内容に対応する
 - ・ Thank you for your point, but it is not [relevant / true / important] because ～
 - ・ However, what you have said is not [relevant / true / important] because ～
 - ・ Thank you for your question. That's exactly what I am going to tell you now.
 - ・ So, let me go back to my speech. (POI の内容から元のスピーチ内容に戻るときの表現)
 - ・ I will explain it later in my speech. (何と言い返したらよいか思いつかなかっただけ、とりあえずこう言って流して下さい。残念ですが、沈黙してしまうよりはましです)

◆ Part 3 相手の意見に対応する / Section 2 「反論のフォーマット」

1) 基本的な反論のフォーマット

反論を思いつくには、まず以下の5種類の反論の型を手がかりに考えてみてください：

反論の基本フォーマット

- ① Not true (「正しくありません」)
- ② Not always true (「いつも正しいとは限りません」)
- ③ Not significant / important (「重要ではありません」)
- ④ Not relevant (関係ありません)
- ⑤ the opposite (逆です)



反論をするときには、まず相手が言ったことを要約し、何について反論をするのか明らかにしてください。「〇〇さんは～と言いましたが、それは違います。なぜなら～だからです」という形で反論をしましょう。

■ 反論の発表用フォーマット

() said [.....]
.....]
However, it is [上の①～⑤のどれかを入れます] because [.....]
.....]

2) 相手の思い込みを指摘する

上のフォーマットで上手く対処できない場合は、下のフォーマットを使い反論を試みてください。特に、「A が起きると次に B が起きる」という因果関係を前提して説明している場合、その前提を指摘することはとても有効な反論になります。

相手の議論の前提・思い込みを指摘する

However, it is not true because it is based on the assumption that ~.
「彼らの議論は、～という思い込みに基づいており、正しくありません」

◆ Part 3 相手の意見に対応する / Section 3 「書いてディベート」

実際のディベートの試合では、素早く相手の議論に対応する必要があります。そのための練習です。

【手順】

- ① ペアを組んで下さい。ある論題に対して、1 人の人がそれを肯定する議論を書きます。
- ② 書き終わったら、パートナーに渡してその議論への反論を書いて貰います。
- ③ 紙を返して貰い、その反論に対して言い返して下さい
(この議論を立て直すことは、reconstruction と呼ばれます)。
- ④ パートナーはその reconstruction を見て、Evaluation の欄に評価を記入します。argument と reconstruction を、1「微妙」 2「まあまあ」 3「すごい！」の3段階で評価して下さい。
また、コメントを英語か日本語で書いて下さい。

各作業には、それぞれ 1 分程度の時間制限をつけます。結果として、以下の様に空欄を埋めていくことになります：

◇ Motion: (ここに論題を記します)

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
その論題に対して賛成の理由を1つ書きます。	 左に書かれた理由に対して、反論を1つ書いてもらいます。	 書いて貰った反論に対して、自分の意見を立て直して下さい。	☐ Argument [1 2 3] ☐ Reconstruction [1 2 3] ☐ Comment: コメントを書いてもらいます。

[example] ◇ Motion: Doraemon should go back to the 22nd century forever.

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
This is because his tools are so dangerous. For instance, if Dokodemo door is stolen by a terrorist group, no one is safe anymore.	This argument is not important because if anything serious happens, Dorami-chan is sure to come to help us.	We are not sure if Dorami-chan can always come to help us. We must defend by ourselves. The best way is to send him back to where he is from.	☐ Argument [1 2 (3)] ☐ Reconstruction [1 (2) 3] ☐ Comment: ドラミが来ないかもしれない根拠は？

Debating on Paper

◇ Motion:

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			☐ Argument [1 2 3] ☐ Reconstruction [1 2 3] ☐ Comment:

◇ Motion:

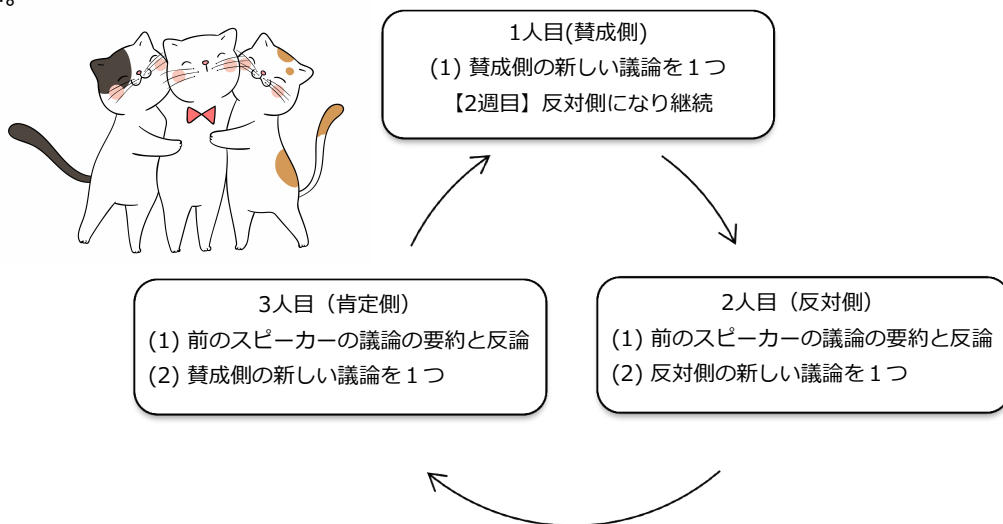
Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			☐ Argument [1 2 3] ☐ Reconstruction [1 2 3] ☐ Comment:

◇ Motion:

Argument	Refutation	Reconstruction	Evaluation
			☐ Argument [1 2 3] ☐ Reconstruction [1 2 3] ☐ Comment:

◆ Part 3 反論をする / Sec.4 「Summary & Refute」

紙の上で練習した次は、口頭で練習を行います。Summary & Refute という国際基督教大学の英語ディベート部で考案された練習方法です。以下の手順を読み、次のページの表現集を使って練習してみましょう。最初は手順になれるために、日本語でやってみてください。



【手順】

- ① 3人のグループを作り、論題を1つ選びます。
- ② 誰か1人を起点に、時計回りに賛成側、反対側を交互に割り振ります。
- ③ 準備時間は与えず、すぐスピーチを始めます。賛成側の1人目が、論題を肯定する議論を1つ出します。(相手の話をちゃんと聞いて、手際よく反論をすることが練習の主目的なので、説明の不十分な議論で構いません。むしろ、あからさまにおかしい議論を出して相手が反論をしやすようにした方がテンポも良くなり盛り上がります)
- ④ 反対側の1人目が前の人議論をまず要約し、次に反論します。そして否定側の議論を1つ出します。
- ⑤ 賛成側の2人目が、反対側1人目の新しい議論だけを(1人目への反論は要約する必要はありません)要約し、反論します。そして、肯定側の新しい議論を1つ出します。
- ⑥ 1順目が終わった場合、賛成側と反対側の立場が自動的に変わります。つまりは賛成側であった者が、反対側になります。2順目が終わるまで続けます。(1番初めにスピーチをした人が、直前の人の反論をして終わりです)

★Summary & Refute は、3人いればいつでもどこでも可能な練習です。すきま時間を見つけて、出来るだけたくさんやってください。

- 練習記録メモ -

◆ First speaker (On the Affirmative) / 1 人目の人 (肯定側)

Greeting	Hello everyone.
Motion	The motion before us today is ~ . I strongly support this motion.
Signposting	My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句).
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

◆ Second speaker (On the Negative) / 2 人目の人 (否定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約).
Refutation	However, this is [not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に否定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to oppose. Thank you.

◆ Third speaker (On the Affirmative) / 3 人目の人 (肯定側)

Summary	The previous speaker said that ~ (直前のスピーカーの議論の要約). 注) 直前のスピーカーの出した新しい議論だけ要約します。直前のスピーカーの行った反論に対しては何も触れません。
Refutation	However, this is [not true (doubtful) / not always true / not important / not relevant] because ~ Therefore, his (her) argument does not stand.
Signposting	Let me move on to my argument. My argument is ~ (議論の見出しとなる名詞句) .
Argument	(出来るだけ簡潔に肯定側の議論を説明します)
Closing	Therefore, I beg to propose. Thank you.

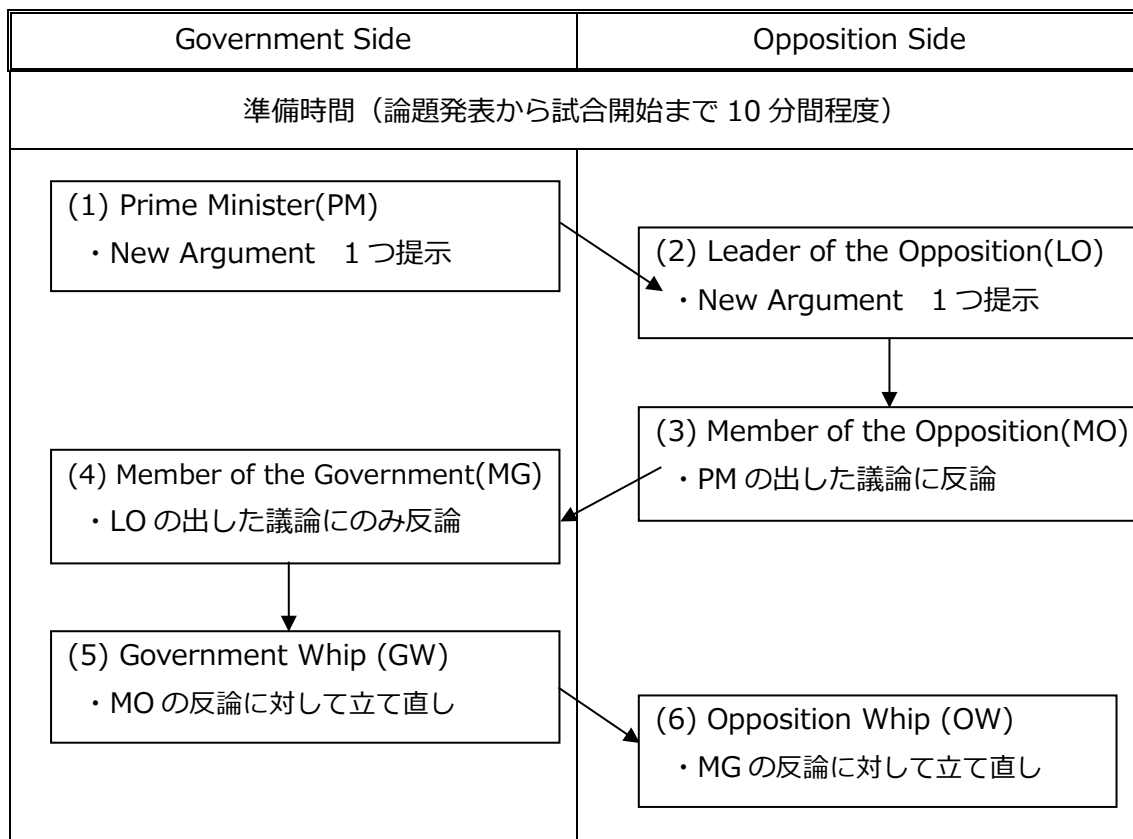
◆ Part 4 簡単な試合をする / Sec.1 「1 人 1 役の試合形式」

議論が作れて反論も出来るようになれば、あとは試合形式で練習して楽しみましょう。論題をどれか 1 つ選び、以下の手順で試合をしてみましょう。

[参加人数] 6 人 (1 チーム 3 人 × 2 チーム)

[1 試合にかかる時間] 準備時間 5 分 + 試合時間 6 分

【1 人 1 役の試合形式】



◆ その他のルール

- ・スピーチの合間に準備時間は設けません（必要であれば、1 分間程度空けて下さい）。
- ・用いる論題は、そのまま試合が出来る具体的なものを使います。
- ・各スピーチの時間は 1 分以内です。1 分より早く終わったら、制限時間が来るのを待たず、次のスピーカーのスピーチに移ります。
- ・勝敗は、より納得のいく議論を出したのはどちらのチームだったかでジャッジ役の人に決めてもらいます。
- ・スピーチ時間が短いので、Point of Information はなしにします。

■(1) Prime Minister と (2) Leader of the Opposition のスピーチ

⇒ Part 2, Section 2 と Section 3 のフォーマットをそれぞれ使ってください。

■(3) Member of the Opposition と (4) Member of the Government のスピーチ

以下のフォーマットを使ってください。

【Refutation (反論) 用フォーマット】

Hello everyone. Let me refute what the opposing side said.

They said [.....]

However, it is (.....) because [.....]

That's all. Thank you.

■(5) Member of the Opposition と (4) Member of the Government のスピーチ

【Reconstruction (反論されたことの立て直し)用フォーマット】

Hello everyone. Let me reconstruct our argument.

They refuted our argument by saying that

However, this is not true because

Therefore, our argument still stands.

That's all. Thank you.

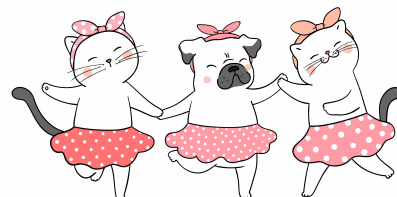
◆ Part 4 簡単な試合をする / Sec.2 *簡易 Asian Style (World Schools)

■ 簡易 Asian Style (簡易 World School Style)

今度のフォーマットでは、1人で新しい議論を出したり反論をしたりと、各スピーチでの時間配分が大切になります。またパートナーとの協力が一層大切になります。それぞれの役割で必要なスピーチのフォーマットは、これまでに使ったものを用いて下さい。

[参加人数] 6人 (1チーム3人 × 2チーム)

[1試合にかかる時間] 準備時間 10 + 試合時間 12分 (または 18分)



【話す順番と役割】

Government Side	Opposition Side
準備時間 (論題発表から試合開始まで 10 分間程度)	
(1) Prime Minister (PM) ・ New Argument を 1 つ 提示	(2) Leader of the Opposition(LO) ・ PM の議論に反論 ・ New Argument を 1 つ 提示
(3) Deputy PM (DPM) ・ LO の新しい議論にだけ反論 ・ New Argument 1 つ 提示	(4) Deputy LO (DLO) ・ DPM の新しい議論にだけ反論 ・ New Argument 1 つ 提示
(5) Government Whip (GW) ・ DLO の新しい議論にだけ反論 ・ これまでに反論された事全てに対して立て直し	(6) Opposition Whip (OW) ・ これまでに反論された事全てに対して立て直し
◆ その他のルール ・ 各スピーチの制限時間は、参加者に合わせて 2 分あるいは 3 分とします。 ・ Point of Information は、スピーチ中はいつでも可能です。 ・ 用いる論題は、定義が不要でそのまま試合の出来る具体的なものを用います。 ・ スピーカーは、スピーチ中に他のチームメイトから助言や指示を受けることは出来ません。 ・ 勝敗は、一番納得のいく議論を出したのはどちらのチームだったかで決めます。	

*Asian Style との違いとして、このフォーマットでは Reply Speech がありません。また各スピーチでは Definition, そして Team Line と Allocation の説明が省略されています。

【Part 4 練習用 論題リスト】

English	Japanese Translation
1. We should abolish point of information.	1. POI を廃止しよう。
2. We should give Ankoromochi on St. Valentine's Day.	2. バレンタインの日には、あんころ餅を渡そう。
3. We should ban the giving of Giri Choco.	3. 義理チョコを渡すことを禁止しよう。
4. We should impose tax on unmarried people over 30.	4. 30 歳以上の独身の人に税金を課そう。
5. Marriage should have an expiration date.	5. 結婚には有効期限があるべきだ。
6. Holding a gorgeous wedding ceremony is better than holding a simple one.	6. 豪華な結婚式は、素朴な結婚式より良い。
7. Giving grades discourages students from learning.	7. 成績を与える事は生徒の学習意欲を削ぐ。
8. E-mail made our lives worse.	8. E メールは私たちの暮らしを悪くした。
9. Practicing debate is bad for education.	9. ディベートの練習は、教育上よくない。
10. Cellphones have made the world a better place to live.	10. 携帯電話は、世界をより住みやすい場所にした。
11. Living in a tropical place is better than living in a place with four seasons.	11. 熱帯で暮らすことは、四季のある場所で暮らすことより良い。
12. Dormitory life is better than living alone for university students.	12. 大学生にとって、寮生活は一人暮らしより良い。
13. Students do not need homework.	13. 生徒には宿題は必要ない。
14. High school students should have a part-time job.	14. 高校生はアルバイトをするべきだ。
15. Reading books is more enjoyable than watching movies.	15. 本を読むことは、映画を見るより楽しい。
16. Studying at home on the Internet is better than studying at schools.	16. インターネットを使って自宅で学習する方が、従来の学校で学ぶより良い。
17. You should not pick a debater as your girlfriend or boyfriend.	17. ディベーターを恋人にしない方がいい。 .
18. It is good to give money to children as a birthday present.	18. 子どもの誕生日プレゼントにお金をあげることは良い。
19. Doraemon should go back to the 22nd century forever.	19. ドラえもんはもう 22 世紀に帰って下さい。
20. We should abolish smoking in all restaurants.	20. 全てのレストランで喫煙を禁じるべきだ。

◆ Part 5 North American Style / Sec.1 *NA Style の形式(簡易版)

■ ノースアメリカンスタイル

次に紹介する形式では、Reply Speech という、両チームのスピーチ内容を比較してどうして自分たちのチームの方がより優れていたのか勝敗の理由を自分で説明するスピーチが加わっています。

[参加人数] 4人 (1チーム2人 × 2チーム) または 6人(1チーム3人 × 2チーム)

[1試合にかかる時間] 準備時間 15分+ 試合時間 26分

【話す順番と大まかな役割】

Government Side	Opposition Side
準備時間 (論題発表から試合開始まで 15 分)	
(1) Prime Minister (PM) ・ New Argument 1～2 つ程度	(2) Leader of the Opposition (LO) ・ Refutation ・ New Argument 1～2 つ程度
(3) Member of the Government (MG) ・ Refutation ・ Reconstruction ・ New Argument 1 つ程度	(4) Member of the Opposition (MO) ・ Refutation ・ Reconstruction ・ New Argument 1 つ程度
(6) Government Reply ・ Refutation (MO の出した議論だけ) ・ Issue について両チームの比較	(5) Opposition Reply ・ Issue について両チームの比較
・ スピーチ時間は、(1)～(4)までは 5 分の間に終わります。(5)と(6)だけ 3 分間以内。 ・ 早くスピーチを終えた場合、持ち時間の経過を待たず次のスピーカーに移ります。 ・ Point of Information は、(1)～(4)まで最初と最後の 1 分間以外可能。Reply では不可。 ・ 準備時間は、論題が提示されてから 15 分または 20 分間とします。 ・ Reply Speech を行う順番は、Opposition からです。また、Reply Speech は 3 人目が行うか、それぞれのチームで、1 人目と 2 人目のスピーカーのどちらが行っても構いません。	

*このフォーマットでは Definition, そして Team Line と Allocation がありません。

また、スピーチ時間も短くなっています(大学生の大会では(1)～(4)は各 7 分、(5)と(6)は各 4 分です)。

◆ Part 5 North American Style / Sec. 2 Reply Speech

■ 1) Reply Speech について

North American Style での PM から MO までの 4 つのスピーチは、Constructive Speech と呼ばれます。そこでは、新しい議論を出し、また反論を行うことが求められます。それに対し、試合の最後で行われる Reply Speech では、新しい議論を出すことも反論を加えることも出来ません。Reply Speech では、試合全体を数個の争点(Issue または crash point などと呼ばれます)に整理して、自分たちのチームがいかに勝っていたか説明することが期待されています。ここでは、その Issue のまとめ方と説明の仕方について練習します。

■ 2) Issue とはどのようなものか

Issue とは、試合の勝敗を決める上で集約される問いを指します。例えば以下の試合のノートを見てください(内容を考えて、空所を補ってみてください。解答は次のページの下部にあります)。

論題: 「救急車の利用を有料化する」	
<u>Government Side</u>	<u>Opposition Side</u>
① 不要な(1)の抑制 ⇒ 利用者のうち軽傷者の割合 ⇒ (1)の近年の増加数 ⇒ 出払いのため(1)出来なかった件数 ⇒ 新たに救われる人 ② (2)の確保 ⇒ 出動件数 × 1 回あたりの料金	① 過剰な (1)の抑制 ⇒ 有償化による出動へのためらい ⇒ 数十秒の遅れによる症状の悪化 e.g. 脳卒中の処置 ② 医療を利用する上での(3) ⇒ 高額所得者にとって抑制が働かない ⇒ 低所得者のためらい ③ 「(4)」の代替りの利用の増加 ⇒ 有料なので「お金を払えばいつだって呼んで良い」という利用者意識が蔓延する。

以上の試合の流れを踏まえると、ジャッジは以下の 3 点を考えて勝敗を決めると考えられます：

{	① 結局の所、政策導入によって、(5)な救急車の利用は(6)するのか。 軽症患者が利用をひかえる ⇔ 富裕層が使い放題 / 「不要」と判断出来るのか。
	② 救われる(7)は増えるのか減るのか 届くべき人に救急車が届く ⇔ 使うべき人(特に低所得者層)が使わなくなる
	③ (8)収支が悪化・改善するか(上の②に比べれば重要性の低い観点です)

これらジャッジが勝敗を考える上で考慮するだろう問いが、試合の争点とされます。



◆ Part 5 North American Style / Sec. 3 Reply Speech の準備

■ 1) Reply Speech の用意の仕方

Reply Speech では、以上のようにジャッジが勝敗で考慮しそうな点を数個予想し、それぞれの点に関してどうして相手チームよりも、自分たちのチームの説明が優れていたのか（そしてどうして自分たちのチームが勝つべきなのか）スピーチします。例に挙げた試合では、以下の3点について比較をする事が Reply speaker には望まれます：

- ① Will the number of unnecessary uses of ambulances be decreased?
- ② Will more people be saved?
- ③ Will the budget deficit improve?

それでは、どのようにして Reply Speech を用意しましょうか。例えば、以下の通りに準備をすることができます。

- ① 試合前にそのラウンドの issue を予測する。その issue ごとに両チームの発言を書き込めるよう紙を用意する。
- ② 試合中は全てのスピーチをよく聞き、issue をまとめるための紙に書き込む（フローチャートにすると、issue ごとに簡潔にまとめることが出来なくなります）。

■ 2) Issue を考える練習

これまで練習で使った論題をもう一度見直して、試合はどんな争点に絞ることができるか考えてみましょう。争点を探す際には、例えば以下の観点が参考になります。

1) その政策に「正当性(legitimacy / justification)」があるのか

- 【例】・人の権利を制限することが許されるのか。（言論の自由の制限に関する論題）
・政府の果たすべき役割は何か。（ある政策の是非に関する論題）

2) ～とはそもそも何であるのか

- 【例】・良い芸術とはどのようなものか。（社会的に議論を呼ぶ芸品の展示の是非など）
・ある行為を犯罪とする要件は何であるのか。（身代金の支払いの非合法化など）

3) あるもの(の数)が増えるのか、減るのか

- 【例】・英語を使えるようになる日本人が増えるのか。（英語教育についての論題）
・どれだけの命が救われるのか。（医療関係の論題）
・政治に興味を持つ若者の数が増えるのか。（成人年齢の引き下げに関する論題）

4) あるものの質が向上するのか否か

- 【例】・飼い主のペットの扱いがより良くなるのか。（ペット飼育の免許制導入の論題）
・夫婦仲が良くなるのか。（婚姻届を更新制にするべき、といった結婚関連の論題）

【Reply Speaker 用の表現集】

【Introduction】

- This round comes down to three [questions / issues / crash points]
First, ~ . Second, ~ . Third ~ . Let me explain one by one.

【Explaining Issues & Comparing both sides】

- (First / Second /Third) issue is ~ .
- We the [government / opposition] side argues that ~ .
 - My team member (PM / DPM / LO / DLO) told you that ~ .
 - Also, (PM / DPM / LO / DLO) told you that~ .
 - This point was refuted by (PM / DPM / LO / DLO). [He / She] said that ~ .
 - However, we told you that this was wrong.
[既に言った反論への立て直しを確認]
I will give you further examples.
So, our explanation is very convincing.
- On the other hand, the [government / opposition] side innocently believes that ~ .
 - (PM / DPM / LO / DLO) ~ told you that ~ .
 - Also, (PM / DPM / LO / DLO) told you that~ .
 - However, this is wrong.
As my team member (PM / DPM / LO / DLO) told you, ~ . [既に出した反論を確認]
Therefore, we found their explanation was quite doubtful.
- So, on this issue, we gave you much better explanation.

【Closing】

- In conclusion, with respect to these issues, our explanations are much more convincing. Therefore, we won this round. Thank you.



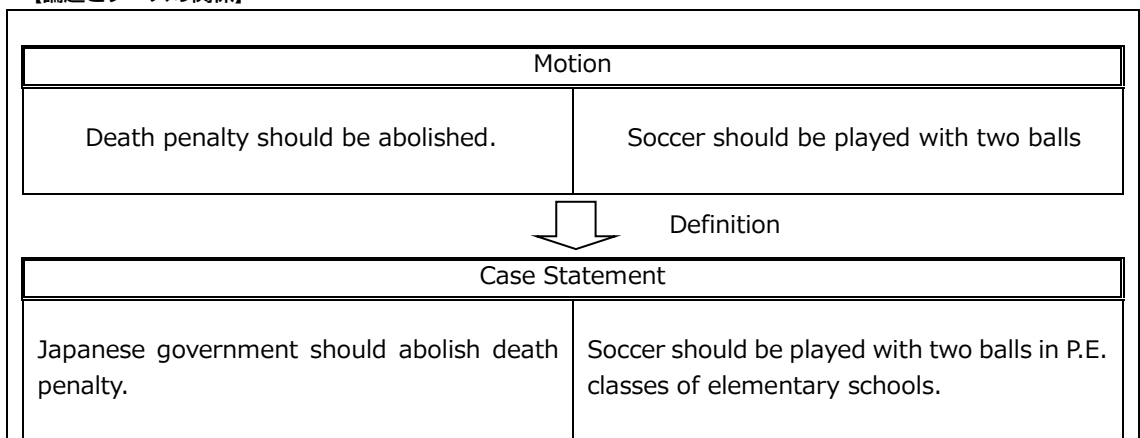
◆ Part 5. North American Style / Sec.4 論題の定義とチームライン

1) Definition と Case statement

ディベートの試合において、一番初めに話すスピーカーである Prime Minister は、与えられた論題 (Motion) の曖昧さを取り除く役割を担います。曖昧さを取り除き、何についてその試合で賛成と反対の議論を戦わせるか明確にする行為を、定義(definition)と言います。定義された結果作られる、肯定側がジャッジに証明を試みる一文を、ケース(case statement)と言います（このケースが何かの政策であれば、Plan または Proposal と呼ばれます）。

(*初心者同士の試合では、予めどんな定義にするのか申し合わせておくか、定義の必要がない論題を用いて下さい)

【論題とケースの関係】



2) チームライン(Team line)

Team line とは、チームとして主張する、どうしてケースが成り立つのかを要約して説明した 1 文です。それがスピーカー間で共有されることにより、政府側あるいは野党側の立場が明確化され、よりジャッジにチームとしての議論が伝わりやすくなります。

このチームラインは特に野党側でスピーチをする場合に重要になります。単に「反対！」と言うだけでなく、その反対のスタンスを明確にすることで、主張がより理解され易くなります。政策論題の場合、通例は以下の内のどれかの立場で反対します(North American Style ではそれほど重視されませんが、Asian Style と BP style では、この様なスタンスを示すことが期待されています)：

【政策論題での否定側の stance / team line の例】

- ① そもそも解決すべき問題は存在しない（そして政府案は unnecessary コストを伴う）ので反対。
- ② 問題は存在するが現状の枠組みで十分対応できる（そして政府案は unnecessary コストを伴う）ので反対。
- ③ 問題は存在し現状では対応が不十分だが、政府側の示した案では問題解決につながらず、副次的な問題を発生させてしまうので反対。
- ④ 問題は存在し現状では対応が不十分だが、政府側の示した案よりもより良い解決案があるので反対。
- ⑤ 問題が存在し現状では対応が不十分だが、政府側の示した案は現状よりもかえって事態を悪化させてしまうので反対。

◆ Part 5. North American Style / Sec. 5 各スピーチのフォーマット

◆ North American Style 各スピーチの役割

<u>1. Prime Minister Constructive Speech (7 minutes)</u> (1) 論題を確認し曖昧な語を定義して、何をこのラウンドで政府側が立証するか説明します。 (2) 論題を肯定する大まかな理由を示します(英文エッセイでの thesis statement の提示)。 (3) ラウンドで自分とメンバーとそれぞれ何を説明するか、アウトラインを示します。 (4) 政府側の根拠を、複数の議論(argument)に分けて説明していきます。
<u>2. Leader of the Opposition Constructive Speech (7 minutes)</u> (1) PM の出した定義を確認、必要があれば再定義して野党側が何を否定するのか説明します。 (2) いかなる理由から論題を否定するか、大まかな理由 (team line) を説明します。 (3) ラウンドで、自分とメンバーが何を説明するか、アウトラインを示します。 (4) 政府側が出した議論(argument)に対して反論(refute)します。 (5) 野党側の根拠を、複数の議論に分けて説明していきます。
<u>3. Member of the Government Constructive Speech (7 minutes)</u> (1) 野党側との立場の違いを、大まかに説明します。 (2) 野党側の議論に対して、反論(refute)を行います。 (3) 政府側の新しい議論を導入します。 (4) 野党側による反論に対して、自分たちの論点を立て直します(reconstruct)。
<u>4. Member of the Opposition Constructive Speech (7 minutes)</u> (1) 政府側との立場の違いを説明します。 (2) 政府側の議論に対して、反論を行います。 (3) 否定側の新しい議論を、導入します。 (4) 肯定側による反論に対して、自分たちの論点を立て直します。
<u>5. Leader of the Opposition Reply Speech (4 minutes)</u> (1) ラウンドを、幾つかの争点に絞って総括し、いかに否定側の議論が肯定側に対して優れていたか説明します。
<u>6. Prime Minister Reply Speech (4 minutes)</u> (1) Member of the Opposition が導入した新しい議論に対して、反論を行います。 (2) ラウンドを、幾つかの争点に絞って総括し、いかに政府側の議論が否定側に対して優れていたか説明します。

次のページから始まるフォーマットに一度目を通して見て下さい。それぞれのスピーカーがどんな構成で、どんな表現を使って話をするのか理解して下さい。また試合をする前に一度、誰かの試合を見て実際にこれらのフォーマットがどう各ディベーターによって応用されているか確認して下さい。
(Reply speech のものは、Section 3 のそれを参照してください)

*以下のフォーマットは大まかな流れをつかみ、決まり文句を覚えて貰うためのものです。決してこれを使って試合をしようとしなないこと。

① PM Speech Preparation Form (for Policy Debates)

Thank you [Mister / Madam] speaker and good [morning / afternoon / evening] ladies and gentlemen in this house. Today, we are given the motion that:

【Motion】
.....

So, let me define the motion as follows.

【Case statement】
.....
.....

Then, let me give you the team line from the government side:

【Team line】
.....

Then, let me give you our team splits. Today, we have () arguments.

{ 1st argument is:
2nd argument is:
3rd argument is:
4th argument is:

As the first speaker, I will talk about () arguments. And my honorable partner will talk about (). So, let me explain one by one.

Our first argument is

Our claim is that
.....
.....

Our reasoning is like this. (Under the current situation,)
.....
.....

(However, if we take our plan,)
.....
.....

I will give you some [evidence / examples].
.....
.....

This argument is important because
.....
.....

Therefore, we need to take this plan.

Then, let me move on to our second argument.

Our second argument is

Our claim is that
.....
.....

Our reasoning is like this. (Under the current situation,)
.....
.....
.....

(However, if we take our plan,)
.....
.....
.....

I will give you some [evidence / examples].
.....
.....

This argument is important because
.....
.....
.....

Therefore, we need to take this plan.

In summary, I have told you that:

.....
And also

My partner will talk about

So for all these reasons, I beg to propose. Thank you.

② LO Speech Preparation Form (for Policy Debates)

Thank you [Mister / Madam] speaker and good [morning / afternoon / evening] ladies and gentlemen in this house.

First, let me confirm the definition given by the Prime Minister.

Their definition was that:

【Definition】
.....

We accept their definition but we strongly oppose their case. Our stance is that:

【Team line】
.....

Before we go on to our arguments, let me refute what the previous speaker has said. [He / she] gave us () arguments.

First, [he / she] said:

【Summary of the first argument】

.....
.....
.....

【Refutation to the first argument】

.....
.....
.....

Second, [he / she] said:

【Summary of the second argument】

.....

.....

.....

【Refutation to the second argument】

.....

.....

.....

Third, [he / she] said:

【Summary of the third argument】

.....

.....

.....

【Refutation to the third argument】

.....

.....

.....

Then, let me give you our arguments. We have () arguments.

{ 1st argument is:

2nd argument is:

3rd argument is:

4th argument is:

As the first speaker of the opposition bench, I will talk about () arguments.
And my honorable partner will talk about (). So, let me explain one by one.

Our first argument is

Our claim is that
.....
.....

Our reasoning is like this. (Under the current situation,)
.....
.....
.....

(However, if we take the plan,)
.....
.....
.....

I will give you some [evidence / examples].
.....
.....

This argument is important because
.....
.....

Therefore, we should not take their plan.

Then, let me move on to our second argument.

Our second argument is

Our claim is that
.....
.....

Our reasoning is like this. (Under the current situation,)
.....
.....
.....

(However, if we take the plan,)
.....
.....
.....

I will give you some [evidence / examples].
.....
.....
.....

This argument is important because
.....
.....

Therefore, the government plan should not be taken.

In summary, I have told you that:

.....
And also

My partner will talk about

So for all these reasons, I beg to oppose. Thank you.

③ Member Speech Preparation Form (for Policy Debates)

Thank you [Mister / Madam] speaker and good [morning / afternoon / evening] ladies and gentlemen in this house.

So far, we have been discussing whether :

【Case】 or not.

【Option】 First, let me clarify what the difference between of our side and the [government / opposition] side is.

Our Side:
.....

On the other hand, the [government / opposition] side:
.....

This is the clear difference of the government side and the opposition side:
..... or
.....

Then, let me restate our team line:

【Team line】
.....

Before we go on to our arguments, let me refute what the previous speaker has said. [He / she] gave us () new argument(s).

First, [he / she] said:

【Summary of the first new argument】

.....

.....

.....

【Refutation to the first new argument】

.....

.....

.....

Second, [he / she] said:

【Summary of the second new argument】

.....

.....

.....

【Refutation to the second new argument】

.....

.....

.....

【Option: Response to reconstruction】

Also, the previous speaker reconstructed their [first / second] argument by saying that

.....

However this is not ~ because

.....

Therefore, their [first / second] argument does not stand.

Then, let me give you our new arguments.

Our third argument is:

Our fourth argument is:

So, let me explain one by one.

Our third argument is

Our claim is that
.....
.....

Our reasoning is like this. (Under the current situation,)
.....
.....
.....

(However, if we take the plan,)
.....
.....
.....

I will give you some [evidence / examples].
.....
.....
.....

This argument is important because
.....
.....
.....

Therefore, we should (not) take their plan.

Then, let me move on to our fourth argument.

【4 番目の議論のフォーマットは省略】

【Option: Reconstruction】

Then, let me reconstruct my partner's arguments.

The previous speaker refuted our first argument by saying that:

.....
.....

However this is not $\sim$ because

.....

Therefore, our [first / second] argument still stands.

Also, the previous speaker refuted our second argument by saying that:

.....
.....

However this is not $\sim$ because

.....

Therefore, our second argument still stands.

In summary, I have told you that:

【Summary of the new argument】
.....

So for all these reasons, I beg to [propose / oppose].

Thank you.

◆ Part 6 Asian Style & BP Style / Sec.1 Asian Style

North American Style は、練習しやすく最初はぜひ試して欲しいフォーマットですが、主に日本の国内大会でのみ使われている形式です。国際大会では主流になっている Asian Style と、そもそもの Parliamentary Debate の基本形である、大学生世界大会の形式である British Parliamentary Style について説明します。

■ Asian Style

Government Side	Opposition Side	
準備時間（論題発表から試合開始まで 25 分）		
(1) Prime Minister (PM) • Definition • Team line • New Argument (2 つ程度)	(2) Leader of the Opposition (LO) • Brief Response to PM • Team line • New Argument (2 つ程度)	Constructive Speech
(3) Deputy PM (DPM) • Brief Response to LO • New Argument (1～2 つ)	(4) Deputy LO (DLO) • Brief Response to DPM • New Argument (1～2 つ)	
(5) Government Whip (GW) • Issue による試合の整理 • Response	(6) Opposition Whip (OW) • Issue による試合の整理 • Response	
(8) Government Reply • Issue による試合の勝敗の説明	(7) Opposition Reply • Issue による試合の勝敗の説明	Reply Speech

- スピーチ時間は、(1)～(6)までは 7 分の間に終わります。(7)と(8)だけ 4 分間以内。
- Point of Information は、(1)～(6)まで最初と最後の 1 分間以外可能。Reply では不可。
- 準備時間は、論題が提示されてから 25 分間とします。
- Reply Speech を行う順番は、Opposition からです。Reply Speech はそれぞれのチームで、1 人目か 2 人目のスピーカーのどちらかが行います。

【North American Style と、Asian Style の主な違い】

① Team line を必ず出す必要がある。

1 チーム 3 人で争うため、チームとして何を証明するのか、聴衆に明確に示すことが望まれます。具体的には、試合において Team line (Team として主張する内容を一文にまとめた物です) を明確に示す必要があります。チームによっては、1 つの紙に Team line を書いて共有し、それぞれがスピーチ冒頭で繰り返すこともあります。

② Reply Speech は 1 人目、あるいは 2 人目のどちらかのスピーカーがする。

Government 側であれば、Prime Minister か Deputy Prime Minister のどちらが Reply Speech をしても構いません。ただし、どちらの人間が担当するのか、試合の開始前にヘルパーあるいはジャッジに申告する必要があります。

③ 1 人目、2 人目のスピーカーは自分たちの議論を主に述べ、反論は最低限に留める。

ノースアメリカン形式との一番大きな違いは、チームに 3 つ目の Constructive Speech があることです。3 人目のスピーカー、Whip Speaker の役割は、反論をすることにあります。反論を専門に行う人間がいるため、1 人目と 2 人目は自分たちの議論 (substantive matter) の説明により時間を費やすことが期待されています。経験上、7 分のスピーチ時間の内、スピーチの導入と最低限の反論を終えるまでには、2 分 30 秒前後が目安です。

④ Whip Speech の役割

Whip Speaker に求められる役割は、反論することにあると述べましたが、より正確には反論を通して、ラウンド全体を整理することにあります。後述の通り、この点においては North American Style の Reply Speech と同じです。

実際のスピーチにおいては、話し方には 2 通りあります。1 つ目では、単純に相手の議論に対して反論を加え、そして反論された自分たちの議論を立て直す方法です。2 つ目の方法では、北米形式の Reply Speech と同様に、ラウンド全体を見通して 3 つ程度の争点(issue)を抽出し、その争点に関して肯定側、否定側が何を言ったか比較します。こう書いてしまえば、Reply Speech と同様なのですが、大きな違いとして、Whip Speech では争点で比較しながら、反論を行えることがあります。Reply Speech では新しい反論を行うことが出来ず、その時点までに出示された議論・反論を材料に肯定側、否定側を比較します。

また、Government Whip では新しい議論を出すことが出来ます (ただし、あまり望ましくないとされています)。その一方で Opposition Whip では、Government 側に十分な反論の機会を与えられないため、新しい議論を出すことは許されません。

もう 1 つの違いとして、Reply Speech では勝敗の基準をはっきりと示す必要がありますが、Whip Speech では示唆する程度で構いません。実際の試合では、Whip Speech の中で議論の争点をいくつか出し両側の意見を比較し、次の Reply Speech にて最も重要な争点に絞り、より内容を深めた比較を行います。

【Whip Speaker 用の表現集】

【Introduction】

- Let me confirm our team line. (Team line の繰り返し) .
- This round comes down to three [questions / issues / crash points]
First, ～ . Second, ～ . Third ～ . Let me explain one by one.

【Explaining Issues & Comparing both sides】

- (First / Second /Third) issue is ～ .
- We the [government / opposition] side argues that ～ .
 - My team member (PM / DPM / LO / DLO) told you that ～ .
 - Also, (PM / DPM / LO / DLO) told you that～ .
 - This point was refuted by (PM / DPM / LO / DLO). [He / She] said that ～.
 - However, this is wrong.
[仲間が既に言った反論への立て直しを確認、または新しい立て直しの追加]
 - I will give you further [support / examples] . [追加の具体例を提示]
 - So, our explanation is very convincing.
- On the other hand, the [government / opposition] side innocently believes that ～ .
 - (PM / DPM / LO / DLO) ～ told you that ～ .
 - Also, (PM / DPM / LO / DLO) told you that～ .
 - However, this is wrong.
 - As my team member (PM / DPM / LO / DLO) told you, ～ . [仲間の反論を確認]
 - Furthermore, they made another mistake. They said ～. [新しい反論を追加]
 - Therefore, their explanation is quite doubtful.
- So, on this issue, we gave you much better explanation.

【Closing】

- In conclusion, with respect to these issues, our explanations are much more convincing .Therefore, we are winning this round so far. Thank you.

◆ Part 6 Asian Style & BP Style / Sec.2 BP Style

パラメンタリーディベートは、文字通り訳せば「議会式ディベート」となりますが、その特徴が最も良く表れるのが、この大学生世界大会で使われている BP スタイル (British Parliamentary Style) です。この BP スタイルこそが Parliamentary Debate のそもそもの形式で、国によっては (実際の所、イギリス本国を含めたほとんどの国では) Parliamentary Debate と言った場合、この形式のみを指します。

BP スタイルでは、各チーム 2 人、4 チームによって争われます。肯定側と否定側をさらに前半後半の 2 チームに分けた形になります。4 チームそれぞれ別々にスピーチの準備をします。

◆ The Format of British Parliamentary Style

Government (Affirmative) Side	Opposition (Negative) Side	
<Opening Government(OG)> (1) Prime Minister (PM) • Definition • Team line of Opening Gov. • New Argument (2 つ程度) (3) Deputy PM (DPM) • Response to LO • New Argument (1~2 つ)		Opening side
<Opening Opposition (OO)> (2) Leader of the Opposition (LO) • Response to PM • Team line of Opening Opp. • New Argument (2 つ程度) (4) Deputy LO (DLO) • Response to previous speakers • New Argument (1~2 つ)		
<Closing Government(CG)> (5)Member of the Gov. (MG) • Team line of Closing Gov. • Response to previous speakers • Extension (7) Government Whip (GW) • Issues & Responses • Highlighting the Extension of MG		Closing Side
<Closing Opposition(CO)> (6) Member of the Opposition(MO) • Team line of Closing Opp. • Response to previous speakers • Extension (8) Opposition Whip (OW) • Issues & Responses • Highlighting the Extension of MO		

*準備時間：15 分 / スピーチ時間：全スピーチそれぞれ 7 分

① スピーチの順番

スピーチの順番では、肯定側と否定側（正確には、政府側と野党側）が交互に話します。他のフォーマットと違い、最後のスピーチも「否定側から肯定側」という順番にせず、「肯定側から否定側」の順番です。

② 準備時間・スピーチ時間

論題の発表から、試合開始まで 15 分間です。各スピーチ時間は 7 分です。各スピーチの最初と最後の 1 分以外で POI が出来ることは他のフォーマットと変わりません。最後の Whip Speech においても POI が可能です。もちろん、Opening Side のスピーカーであっても、Closing Side のスピーカーに POI できます。ただし、Government または Opposition のサイドが同じチームに対しては、POI できません。

③ 勝敗の付け方

ジャッジは、試合を評価するにあたり、正確には勝敗ではなく、スピーチの良かったチームに 1 位から 4 位の順位を付けます。大学生世界大会の予選では、1 位に 3 ポイント、2 位に 2 ポイント、3 位に 1 ポイントが与えられます（4 位のチームはポイントを貰えません）。予選 9 試合を通じて、ポイントの高いチームから決勝トーナメントに進出します。

④ Opening 側と Closing 側の違い

このフォーマットを理解するには、実際の議会を想像すると分かり易くなります。連立内閣を組んでいる政府に対して、野党が共闘していると思って下さい。Opening チームの方が、Closing チームよりも勢力が大きい党であり、そのため始めに話し、立論の機会が多く与えられていると捉えてください。Closing チームは Opening チームと比べて勢力の小さい、それでも少数の意見を代弁する大切な政党であると考えてください。

具体例を出せば、ドイツにおける社会民主党と緑の党の関係を考えてみて下さい。1998 年から 2005 年まで、両党は連立政権を組んでいました。60 年代の学生運動にその起源を持つ緑の党の方が議会では少数勢力でしたが、代替エネルギーへの補助や原子力発電所の全廃など、産業界に支持基盤を持つ社会民主党には出来ない政策実現に尽力して来ました。この様に、大多数には見逃されがちな、それでも重要な意見を出すことが、Closing チームには期待されています。

⑤ 「Extension を出す」という Closing チームの役割

Closing 側は前述の通り、少数の意見の代弁者として、Opening 側が触れなかった新しい内容を加える必要があります。この役割は Closing チームの 1 人目のスピーカーが担い、それまでのスピーカーが述べなかつ、新しい内容を付け加えることを、「Extension を加える・出す」と言います。

“Our extension is ～” という様に、何が Extension なのかはっきりと述べることが望まれています。Extension は、新しい議論でも、論題の背後にある大切な原理・原則の分析でも構いません。賛成側、否定側どちらの方が優れていたか判断する上で重要な内容である限り、何を Extension として聴衆に示しても構いません。

Closing のチームを評価するにあたっては、そのチームが出した Extension がいかに関その試合の中で重要であったかが最も大切な観点になります。Whip Speaker は試合を整理する中で、いかに自分のパートナーの出した Extension が試合内容の発展に貢献したかも、直接的・間接的に説明します。

◆ Part 7 勝敗の決め方 / Adjudication

1) ジャッジをする上で、最低限知っておく必要のあるルール

【反則について】

- ① ディベーターは準備時間中に、パートナー以外の人と相談してはいけない
- ② 自分のスピーチ中に、口頭であれメモであれ、パートナーと相談は出来ない。
- ③ 電子辞書以外の電子機器を準備時間中に使用してはいけない。
- ④ Reply スピーチで新しい議論を導入したり、PM の MO の議論に対する以外の反論を始めてはいけない。

【してはいけない勝敗の決め方】

以下を理由に勝敗を決めてはいけません。

- ① 英語の上手さ ② 話し方の上手さ ③ *スピーカーズポイントの合計

*大会では個人のスコアが各ラウンドでジャッジより与えられます。このスピーカーズポイントと呼ばれる数値は、勝敗を決めてから各スピーカーに割り振られる補足的な評価であり、スピーカーズポイントをとりあえずつけて、その合計が多かったチームを勝ちにする、というのは本末が転倒しています。

2) 勝敗の付け方の例

試合でジャッジは、分かりやすいスピーチを通して、より良い議論を出し、より良い例を出し、より良い反論を行ったチームを勝ちにします。この大原則を踏まえ、個々の試合の実情に即して勝敗を判断します。機械的に勝敗が決まるようにするためには、スピーチの仕方・フォーマットに大幅な制限を設け、パブリックスキーピングの側面をそぎ落とし、ルールでがんじがらめにする必要があります。これを避けるために、大学生大会などでは、勝敗の決め方に関して解釈の余地がルール上大きく設けられています。以下では、勝敗を決める上での参考になる典型例を示します。

【パターン① 試合が崩壊した場合】

定義をめぐって肯定側・否定側が誤解したまま試合をしてしまった場合が、このラウンドが崩壊した試合の典型例です。ラウンドが混乱してしまった場合は、4 人のスピーカーの内で誰に一番責任があるかを考え、そのスピーカーのいるチームが負けになることが多いと言えます。

また、スピーカーがディベートのフォーマットを全く無視したスピーチ（立論と反論を区分けせず、ただ英語で論題に関して思いを述べた程度のスピーチ）を行った場合も、このラウンドが崩壊した場合に含めることが出来ます。ディベートのフォーマットを無視しているものの、説得力のある議論をする人がいます。この様な場合も、たいていは相手への反論が全く抜け落ちていたりなど、大きな欠点があるため負けの理由とされ得ます。

【パターン② 良い議論が出たが、双方の反論は不十分で、Reply で勝敗基準が出されなかった場合】

それぞれある程度理解の出来る内容を言っているが、説明や反論が不十分で、決定打がないまま終わったしまった試合がこのパターンに当てはまります。試合数の経験が3桁に達していないチーム同士の試合では、大抵このような試合になります。

この場合の勝敗の決め方は、単純に、出された議論のうち反論を受けた上で、どれが一番ラウンドの最後まで説得力があったかを考えます。そして、その一番強かった議論を含んでいたチームに勝ちを与えることが一般的です。

双方ともに十分納得のいく議論を出し、優劣が付けがたい場合があります。例えば、1つのチームがとても強い議論を1つ出し、もう一方のチームがほとほと議論を2つ出した様な試合では、どう判定しましょう。Reply にて、一方のチームが納得のいく勝敗の基準（どうして一方の議論の方が、より価値が高いのかについての説明）を出した場合は、そのままその基準を採用して勝敗を決めます。

しかしながら、ディベーターが、Reply にて勝敗の基準を示さなかった、あるいは出したが納得のいくものでなかった場合には、ジャッジは頭を抱えることになります。この場合、たいいていは以下のどれかの方法で勝敗を決めることが多くなります：

- ① 試合中に出されなかったが、社会で一般的に受け入れられている双方の議論の価値を比較する視点を、勝敗の決定で使う（例えば「人の命は何ものよりも重い」「政府は短期的なメリットよりも、長期的なメリットを優先するべきだ」など）。
- ② より良い具体例を出していた方を勝ちにする。

【例③ 良い試合であった場合】

聴衆にとって面白く、そしてジャッジのやり甲斐があるのが、上手いスピーカーから成るチーム同士の対戦です。今の日本の大会では、学部3年生以上が参加する大会の、決勝トーナメントで見ることが出来ます。チームとして双方が戦っている場合の特徴は、スピーカーの話を聞くごとに勝敗の判断が揺れることです。また、スピーチが進むにつれ大きな争点が自然に明らかになって行きます。ディベーターがそのラウンドで問われるべき大きな問いを提示し、双方のチームが何らかの答えを出します。

このような試合の勝敗は、ある程度ディベーターとして実績がある人であれば判断が出来るという前提の下、ジャッジの判断に委ねられています。それぞれのジャッジは、当人が「良い」と考えるディベートのモデルに、どちらのチームがより近づいていたかを元に判断しているのが実情です。例えば、どれだけ付け焼刃ではない知識を示し、試合全体を整理することが出来たかが、勝敗を決める上で特に大切にされています。他には、以下の様な観点を踏まえて勝敗が決められています：

① [政策導入の是非に関する論題の場合]

- a. 肯定側が解決したい問題は、何かの行動をとる必要があるほど重要か。
- b. その問題に対する政策が、実行可能なのか（この観点は論題に対するテクニカルな知識の有無が問題になるため、試合の勝敗を決定する争点になることはまれです）。
- c. その政策がどのような仕組みで問題を解決するのか、明確な説明があったか。
- d. 肯定側が提示した政策によって、意味のある程度まで問題が解決できるのか。
- e. 肯定側が提示した政策よりも優れている代案が、否定側から示されていないか。

② [事実認定に関する論題の場合]

- a. どちらが、より納得のいく事実認定のための基準を出していたか。
- b. その基準に照らして、どちらの意見の方がもっともらしいか。

③ [試合の争点に関して]

- a. この試合で最も重要な争点は何であり、それはどちらのチームが提示したか。
- b. 試合で重要な争点に対して、どちらのチームの解釈の方がより納得できるか。

④ [ディベート全体を通して]

- a. どちらの方が、この論題に関してより多くの本当の知識を持っているか。言い換えれば、どこか別の論題からの使い古しの議論や具体例をそのまま使っていないか。
- b. 何か新しい創造的な意見を出しているか。
- c. 相手側の主張に対して、どちらの方がより多く、また的確な応答をしていたか。

機会があれば、どの様にジャッジをしているか、ディベート歴の長い人を大会で捉まえて、聞いてみてください。自分の予想では、使う表現は違っていても、ある程度似た回答になると思います。また、国際大会で結果を残すことに重きを置く人の場合、海外のディベーターの間で流行っているディベートのテクニカルな知識を踏まえてスピーチをしているかどうか大きなポイントになることもあります。

試合をする目的が何であるのか、例えば特定の国際大会に向けての練習であるのか、それとも大まかにパブリックスピーキングの練習の一環であるのか、ジャッジとディベーターの間で共通理解を持ち、特にどのような点を勝敗で重視するか確認して練習をすれば、より活動が有意義になるでしょう。



【練習記録メモ】

This image shows a full page of a handwriting practice worksheet. It consists of multiple rows of horizontal dashed lines spaced evenly apart, providing a guide for letter height and placement. The background is plain white, and there are no other markings or text on the page.

◆ Appendix 【A】 表現集

◆ greeting

Thank you Mr. (Madam) speaker. Hello, honorable judge, and members of this house
/ Hello, everyone / Good morning, ladies and gentleman /

◆ definition

【論題の提示】 Today we are going to debate on ~ / Today, we have the motion that ~. However, this motion has some vague points (words) / Today's motion is ~. However, this motion is not so clear. Therefore, I would like to define some points (words) in this motion

【定義】 Then, let me give you our model (plan) / In this round, we will define the word A as B / In this round, we will limit X to Y / Therefore we propose that ~ / Therefore, our proposal is that ~ / We have one condition. It is that ~ /

◆ signposting & allocation

【signposting & allocation】 We have ~ points to support our proposal (plan). The first point is ~, the second point is ~, the last point is ~ / I will explain our first and second points. And my partner will explain the third point.

【議論の説明に移る transition】 Then, let me explain our first argument / Let's move on to the next point / First (second, third) of all /

◆ development of points

【議論の説明のための基本表現】

- Our first point is ~
- On this point, I will explain ~ / I am going to prove you that ~ / The reason why we can say ~ is because ...
- Under the current situation (status quo), ~
- However, if we take this plan, ~ / After we introduce our proposal, ~
- For example (instance), ~ / Let's think about ~'s case. / I will give you one example / Here is the evidence that ~ / If ~, / Let's suppose ~ / Please imagine ~ / According to ~ / A recent article in ~ stated ... / ~ said that ...
- This point is important because ~ / As a role of (the government etc.), taking this plan is important because ~
- What do I mean by this? I mean that ~ / Let me make it clear that ~

◆ refutation

a) 反論の開始

Let me refute back to the Gov (Opp) side / I will refute back to their arguments / Let me respond to what they have said. I have four responses /

b) 相手の政策案に反論する

Their plan is not necessary [feasible / workable / justifiable] because ~ .

c) 相手の議論を要約する

They (the previous speaker) said that ~.

d) 相手の誤りや弱点を指摘する

- This is not true [not always true / very doubtful] because ~
- Their second argument is not important (significant) because ~
- This is irrelevant because ~
- They could not explain the clear process (mechanism) of how ~
- Even if ~ , it is not always true that ...
- The mistake the previous speaker has made is ~ / The weakness of their argument is ~ / They failed to explain ~
- There is no reason why ~ .
- They could not show us any evidence (example) of ~ .
- Their argument depends on the misassumption that ~ /

e) 相手の認識不足を指摘する

They are not understanding that ~ / They are not aware of ~ / They ignored (didn't consider) ~

◆ reply

This round has essentially come down to whether ~ / In order to summarize this round, we need to ask three questions / The most important issue in this round is ~ / I would like to point out the crucial failure (mistake) of Gov (Opp) / Please compare the argument of each side / As my partner has clearly explained before, ~ / In order for Gov (Opp) side to win this round, they should have ~. But they failed to do so. On the other hand, we could ... /

◆ conclusion

In summary ~ / Let me summarize ~ .

◆ end of speech

For all these reasons, we strongly believe ~ / Because of these reasons, we beg to propose (oppose) / Therefore, we believe that ~ /

◆ Appendix 【B】 試合の流れのアウトライン (ノースアメリカン形式)

1. 挨拶

まず挨拶をします。型どおりの表現で構いません。

(Hello etc...) Ladies and gentleman. / Thank you Mr.(Madam) chair.

2. 論題の提示

次に、この試合で何についてディベートを行うのか確認をします。必要であれば、定義も行うことになります (Opposition 側に立った場合は省略されます)。

Today we are going to debate on ~ / Today we have the motion that ~ / The motion before us today is ~ / Today's motion is that ~.

3. 自分たちの立場の設定

自分たちはこのラウンドで、どのようなスタンスを取るのか大まかな理由を示します。

We will propose that ~ because ~. / We strongly believe (insist) that ~ because ...

4. スピーチのアウトラインの提示

次に、自分たちのスピーチがどのような構成で進むのか示します。どのポイントの説明を誰が担当するのか言うのが一般的です (これは各チームの1人目のスピーカーが言います)。

We have ~ points(arguments) to support our proposal(plan). The first point is ~. The second point is ~. The last point is ~. / I will explain~ and my partner will explain ~.

5. 議論の説明

1つ目の議論の導入

First of all ~ / The first argument is ~ / Let me explain our first point.

次の議論に移るとき

Next, I would like to talk about ~ / Another point is ~ / Our second (third) point is ~.

Now let us turn to ~ / Let me move on to the next argument.

議論の構成：

- 1) Signpost
- 2) Claim / Assertion (1文でまとめられた主張の要旨)
- 3) Reasoning (どうしてその主張が成り立つかの順を追った説明)
- 4) Evidence / Example
- 5) Importance (どうしてこの議論が重要かの説明)

- 1) Our first point is ～
- 2) On this point, I will explain ～ / I am going to prove you that ～ /
The reason why we can say ～ is because …
- 3) Under the current situation (status quo), ～ / However, if we take this plan, ～ /
After we introduce our proposal, ～ /
- 4) For example (instance), ～ / Let's think about ～'s case. /
I will give you one example / Here is the evidence that ～
- 5) This point is important because ～ / As a role of (the government etc.), taking this
plan is important because ～

6. 結論を述べる

議論を説明し終えた後で、改めて要旨を述べます。

In summary ～ / Let me summarize my arguments. / In conclusion, we have found
that ～ / I have explained to you that ～ / .

7. スピーチを終える

最後に、自分のスピーチが終わることを次のような表現で示します。

For all these reasons, we strongly believe that ～ / Because of these reasons, we beg
to propose (oppose) / Therefore, we believe that ～ / Consequently, we insist that ～

◆ 反論する

一般的に相手チームへの反論は、自分たちの議論を説明する前に行います。

反論に移る

Let me refute back to the Gov (Opp) side / I will refute back to their arguments / First,
let me respond to the previous speaker. I have three responses.

反論の構成は、基本的に右のいずれかを
取ります。1～4 までは以下の型を使いま
す：

They said ～. However, it is [].
That is because ～.

- 1) not true
- 2) not always true (very doubtful)
- 3) not important (significant)
- 4) not relevant
- 5) that's the opposite
(flip または turn around と呼ばれます)
- 6) 相手の誤った assumption を指摘する

◆ Appendix 【C】 Manual for Chairperson (議長役の人の表現集)

議長 (chairperson)の役割は、試合の進行役です。時間を計ること、そして試合の開始・終了の宣言と、各スピーカーを呼びだすことがその仕事です。議長は、必ずしもいなければならない訳ではありません。大会の予選では、ジャッジが議長を兼ねる場合もあります（以下はノースアメリカンスタイルの場合ですが、スピーカー名を変えれば WSDC の形式でも同様です）。

(1) 時間の計り方

試合でのスピーチ時間は、立論スピーチ (constructive speech)が 7 分か 8 分、そしてリプライ・スピーチ (reply speech) が 4 分です。

立論スピーチでは、Point of Information が可能な時間の区切りを示すために、1 分経過した時と残り時間が 1 分になった時に合図を出します。合図の出し方は、手を叩くことが一般的です。一回叩きます。手を叩くこと以外にも、ベルがあればベルを 1 度鳴らします。

また、スピーチ時間が終了した時、つまり 7 分あるいは 8 分経過した時にも、合図を出します。今度は手を 2 度叩きます。30 秒超過した場合は 3 回手を叩き、スピーチを止めるように合図します。大会によっては、手を叩く代わりに、“stop your speech”と言う場合もあります。

4 分間のリプライ・スピーチでは、Point of Information が無いため、スピーチ時間の最初と最後の 1 分間を合図する必要はありません。4 分が経過すれば 2 回手を叩き、30 秒超過すれば 3 回手を叩いて合図することは、立論スピーチと同じです。

(2) ディベートの試合開始、各スピーカーの呼び出し、そして試合終了の宣言

議長の役目は試合の進行役であり、その役割を果たす限りにおいてどの様に進行しても構いません。参考までに、以下ではよく使われている表現を順番に示します。

[試合開始の宣言・PM の呼び出し]

- Preparation time has expired. Now I call this house to order.
- The motion for this round is ～.
- Now, I would like to call upon the prime minister to open this round within 7(あるいは 8) minutes. (拍手)

大会では、上の表現にチームとジャッジの紹介が加わります。例えば以下の様な具合です：
“Preparation time has expired. Welcome to the quarter final of (大会名). The government side is (チーム名) and the opposition side is (チーム名). First, let me introduce the honorable adjudicator(s) for this round. He is Mr. ～. He is working for ～. He was the finalist of ～. Now, I would like to call upon the prime minister to open this round within 8 minutes”

次に、1人目のスピーカーがスピーチを終えた後です（スピーチ中は、上述の通り時間を計ります）。各スピーチを終えた後では、拍手をします。その後で、以下の文を読みます。

[次のスピーカーの呼び出し]

- I thank the (前のスピーカーの名称。例えば Prime Minister) .
- Next, I would like to call upon the (次のスピーカーの名称。例えば、Leader of the Opposition) to deliver (次に発表されるスピーチの名称。例えば their 1st constructive speech) within [7 / 4] minutes.

1つ目の表現で、スピーチを終えた論者に謝辞を述べます。2つ目の表現で、次の論者を呼び出します。スピーチの順番は以下の通りです。スピーカーの名称と、下線で場所を示したスピーチ名、そしてスピーチ時間を入れ替えて、上の表現をそのまま使います。

[スピーチの順番]

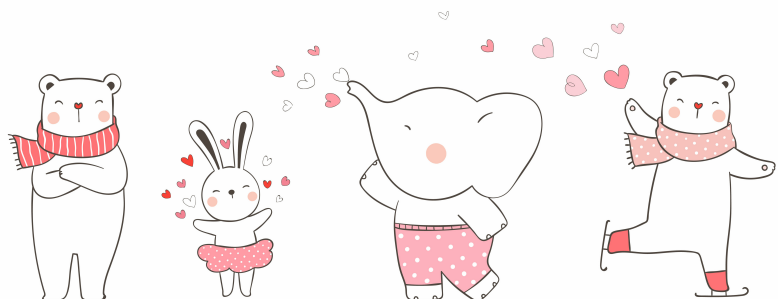
- ① Prime Minister, 1st constructive speech
- ② Leader of the Opposition, 1st constructive
- ③ Member of the Government, 2nd constructive
- ④ Member of the Opposition, 2nd constructive speech
- ⑤ Leader of the Opposition, reply speech
- ⑥ Prime minister, reply speech

最後に、全てのスピーチが終わった後で、以下の表現を使い試合の終了を告げます。

[試合の終了の宣言]

- I thank the prime minister.
- All speeches are over. Thank you for your cooperation. (拍手)

以上が議長の仕事になります。これ以降は、試合の講評等をジャッジ役の人に任せます。



Have a good day

◆ Appendix 【D】 練習用論題 (高校・高校生に関するもの)

English	Japanese Translation
<School Uniform> 1. Our high school should abolish the school uniform. 2. The school uniform of our high school should be a Kimono. 3. Female students should be allowed to wear trousers as a school uniform. 4. Male students should wear skirts as school uniform. 5. Students should be allowed to go to school in sportswear. <School Regulations> 6. Students should be allowed to bring their cellular phones to school. 7. Students should be allowed to drink and eat snacks during the class. 8. Students should be allowed to bring comic books to school. 9. There should be no homeroom class. 10. High achieving students should be allowed to skip grades. 11. Our high school should abolish the long summer vacation. <Extracurricular Activities> 12. Traveling abroad is better than domestic travel as a graduation school trip. 13. All students should join club activities. 14. Students whose test scores are not good should be suspended from club activities. 15. High schools should introduce mandatory volunteer work for two weeks. 16. Cultural festivals are better than sports festivals. 17. Joining a sport club is better than joining a cultural club. 18. The debating society is better than all the other clubs.	<制服> 1. 私たちの高校は、制服を廃止するべきだ。 2. 私たちの高校の制服は、着物であるべきだ。 3. 女子の生徒は制服として、ズボンをはくことを許されるべきだ。 4. 男子の生徒は制服としてスカートをはくべきだ。 5. 生徒は運動着(学校指定のジャージなど)で登校することを許されるべきだ。 <学校のきまり> 6. 生徒は学校に携帯電話を持ち込むことを許されるべきだ。 7. 生徒は授業中に飲食をすることを許されるべきだ。 8. 生徒は学校にマンガを持ち込むことを許されるべきだ。 9. ホームルーム・クラスは無くてもいい。 10. 成績の良い生徒は、飛び級をすることを許されるべきだ。 11. 私たちの高校は、長期の夏期休暇を廃止するべきだ。 <課外活動> 12. 修学旅行としては、海外旅行の方が国内旅行より良い。 13. 全ての生徒はクラブ活動に加わるべきだ。 14. 試験の成績が良くない生徒は、部活動への参加を停止されるべきだ。 15. 高校は、義務となる2週間のボランティア活動を導入するべきだ。 16. 文化祭は体育祭より良い。 17. 体育会系の部活に加わることは、文化系の部活に加わるより良い。 18. ディベート部は、他の全ての部活より良い。

<Studying> 19. Students should be asked to study foreign languages other than English. 20. There should be no homework. 21. There should be no homework for summer vacation. 23. Students should be given their allowance according to their test scores. 24. Studying for entrance examinations does more harm than good. 25. All English classes should be taught in English. 26. All English classes should be taught by native speakers of English. 27. High schools should teach students how to drive a car. 28. English should be removed from the university entrance examinations. <Other Issues> 29. Studying at a high school with a huge student body is better than studying at a high school with a small student body. 30. Studying at a high school in a big city (such as Shibuya) is better than studying at a high school in a rural area. 31. Studying at a boys-only or girls-only high school is better than studying at a co-education school. 32. High school students should have a part-time job. 33. Having a boyfriend or girlfriend is a waste of time for high school students. 34. The new academic year should start in September instead of April. 35. Studying at a high school which is oriented toward college-bound students is better than studying at a high school which is not. 36. Studying at a cram school is more effective than studying at a high school. 37. Studying at a private high school is better than studying at a public high school. 38. We should have a convenience store in our school. 39. There should be a 10.p.m. curfew for high school students.	<学業> 19.生徒は英語以外の外国語も学ぶべきだ。 20. 宿題は無い方がよい。 21. 夏休みの宿題はない方がよい。 23. 生徒は、テストの得点に応じてお小遣いを与えられるべきだ。 24. 入試のために勉強をすることは、益よりも害を為す。 25. 全ての英語の授業は英語で教えられるべきだ。 26. 全ての英語の授業は、英語の母語話者によって教えられるべきだ。 27. 高校は、生徒に車の運転を教えるべきだ。 28. 英語は入試科目から取り除かれるべきだ。 <他の争点> 29. 生徒数の多い高校で学ぶことは、生徒数の少ない高校で学ぶことよりもよい。 30. 大都市（例えば渋谷）にある学校で学ぶことは、田舎の高校で学ぶことよりもよい。 31. 男女別学の学校で学ぶことは、共学の学校で学ぶことよりもよい。 32. 高校生はアルバイトをするべきだ。 33. 恋人を持つことは、高校生にとって時間の無駄だ。 34. 新しい学年は、4月ではなく9月から始まるべきだ。 35. 進学校で学ぶことは、そうでない高校で学ぶよりも良い。 36. 塾で学ぶことは、高校で学ぶことよりもより効果的である。 37. 私立高校で学ぶことは、公立高校で学ぶことより良い。 38. 学校にはコンビニを入れるべきだ。 39. 高校生には午後 10 時の門限があるべきだ。
--	---

◆ Appendix 【E】 練習用論題 (一般的なもの)

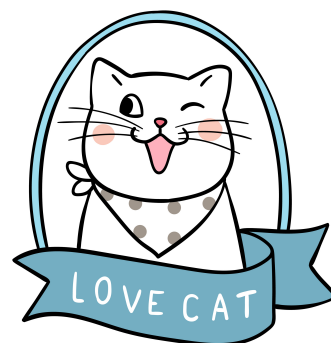
“THBT”は、“This house believes that” の略称です。“THW”は、“This house would” の事です。“House”とは議会を指し、つまり「本議会は、～と信じる / ～をする」という動議(Motion)を採択するか否かが、ディベートで争われる内容です。

“A is better than B” という論題は、現在では大会で使われることがほとんど無い論題ですが、スピーキング練習としては使い勝手がよいものです。ある何らかの基準を提示し、A と B の両者を比較して議論を作ってください。

大学生の大会で使われた論題集は、東京大学英語ディベート部(UTDS)のサイトにまとめられています。インターネットで部のサイトを検索して探してみてください。面白い論題がたくさんあります。

【List A】 初心者用

1. THBT Debating Society should be the club to choose.
2. THW abolish POI.
3. THBT death penalty should be abolished.
4. THBT coming of age ceremony should be abolished.
5. THBT school uniforms should be abolished
6. THBT smoking in all public spaces should be banned.
7. THBT mechanical pencils are better than wooden pencils.
8. THBT Nobita should choose Jaiko rather than Shizuka.
9. THBT smoking is good.
10. THBT Doraemon spoils Nobita.
11. THBT internet shopping is better than going to real shops.
12. THBT cellular phones are not good for students.
13. THBT studying in university is nothing but second priority.
14. THBT marriage should have an expiration date
15. THBT love marriage is better than arranged marriage.
16. THBT single-sex education is better than co-education.
17. THBT gorgeous wedding is better than simple one.
18. THBT contact lens is better than eyeglasses.
19. THBT the couple with double incomes and no kids is better than the couple with a single paycheck and children.
20. THW preserve historic buildings rather than replace them with modern buildings.
21. THBT giving grades discourages students to learn.
22. THBT e-mail made our life worse.
23. THBT package tour is better than to travel independently.
24. THBT university students should take classes in many different fields rather than specializing in one field.
25. THBT the ability to work in a group is more important than the ability to work independently.
26. THBT social community sites such as facebook are bad for students.
27. THBT classmates influence students' success in school more than their parents.



28. THBT a high-paying job with long working hours is better than a lower-paying job with shorter working hours.
29. THBT cellular phones have made the world a better place to live.
30. THBT living in a tropical place is better than living in a place with four seasons.
31. THBT dormitory life is better than living alone for university students.
32. THBT e-mail have made communication between people superficial.
33. THBT preschool children should study rather than play.
34. THBT carefully planned leisure time is better than unplanned one.
35. THBT having a friend who have a lot in common with you is better than having a friend who has little in common.
36. THBT working shorter hours for lower salary is better than working longer hours for higher salary.
37. THBT comic book is a legitimate Japanese culture.
38. THBT having a few close friends is better than having a large number of friends.
39. THBT a man and a woman cannot be true friends.
40. THBT students do not need homework.
41. THBT university students should have part-time job.
42. THBT school libraries should buy new computers instead of new books.
43. THBT borrowing money from a friend damages the friendship.
44. THBT pets should be considered as member of the family.
45. THW allow Universities to allot slots for the admission of children of alumni.
46. THBT studying humanities is more important than studying natural sciences.
47. THBT reading books is more enjoyable than watching movies.
48. THBT playing game is fun only when you win.
49. THBT it is better to be a member of a group than to be the leader of a group.
50. THBT items made by hand are better than items made by machine.
51. THW abolish tuition fees.
52. THBT one long vacation in a year is better than several short vacations.
53. THBT studying at home by using internet is better than studying at traditional schools.
54. THBT traditional house is better than modern apartment.
55. THBT libraries of national universities should be opened to all citizens.
56. THBT university classes should be taught in English.
57. THW penalize youth engaging in pre-marital sex.
58. THBT you should not pick up your girlfriend / boyfriend among debaters.
59. THBT it is good to give money to children as birthday present.
60. THW abolish St. Valentine's day.
61. THBT Doraemon should go back to 22nd century forever.
62. THBT it is better to give Odango than chocolate for St. Valentine's Day.
63. THW introduce child curfews.

【List B】 中級者用

1. THBT the 2012 Olympics was a failure.
2. THBT youth should participate in country's decision making.
3. THBT emission trade saves environment.
4. THW legalize prostitution.
5. THW legalize drugs.
6. THW introduce baby hatch (「赤ちゃんポスト」)
7. THW legalize euthanasia.
8. THW introduce fat tax. 9. THW legalize selling of organs.
10. THW legalize all drugs.
11. THBT ASEAN + 3 needs free trade.
12. THW allow adoption by gay couples.
13. THBT plea bargain is justifiable.
14. THBT UN should have its own standing army.
15. THW introduce compulsory voting.
16. THW open casino in Odaiba.
17. THW raise the rate of consumption-tax.
18. THW stop space exploration.
19. THW ban cosmetic surgery.
20. THW support the flat tax.
21. THBT the vending machines of tobacco should be abolished.
22. THBT gay marriage should be permitted.
23. THBT married couples should be allowed to have different surnames.
24. THBT the names of suspects should be anonymous in news reports.
25. THBT newspaper journalists should sign their names on their articles.
26. THBT the use of nuclear power plants should be prohibited.
27. THBT foreign residents should be given the right to vote.
28. THBT suffrage(the right to vote) should be given at the age of 16.
29. THBT Prime Minister of Japan should be elected directly.
30. THW introduce retirement age in the Diet.
31. THW privatize water business.
32. THBT the introduction of citizen-judge system will do more harms than goods.
33. THBT trials should be broadcasted on TV.
34. THBT media should disclose the information of juvenile suspects in cases of serious crimes.
35. THW revise the constitutional law of Japan.
36. THW give the right to vote to prisoners.
37. THBT textbook inspection should be abolished.
38. THW integrate the history textbooks of Japan, South Korea, and China.
39. THBT genetically modified food should be prohibited.
40. THBT animal testing should be prohibited.

41. THW privatize the management of prisons.
42. THW allow candidates to use the Internet for their election campaign.
43. THBT information of sexual criminals should be disclosed.
44. THBT visiting Yasukuni Shrine by Prime Minister should be supported
45. THBT whale hunting should be permitted.
46. THW control the possessions of guns strictly.
47. THBT Japan should poses nuclear weapons.
48. THBT Japan should become a permanent member of the UN Security Council.
49. THW allow athletes to use performance enhancing drugs.
50. THBT US military bases in Japan should be removed.
51. THW introduce surrogacy for profits.
52. THBT the nuclear technology has brought better society.
53. THBT immigrants should adopt the culture of the new country rather than preserving their own.
54. THBT Japan should welcome more foreign workers.
55. THW allow gay marriage.
56. THW make reparations for slavery.
57. THW cancel the debts of third world countries.
58. THW give national treasures back to its people
59. THW introduce compulsory voting.
60. THW make English second official language of Japan.
61. THW chemically castrate sexual offenders.
62. THBT ban advertisement targeting children.
63. THBT zoo should be abolished
64. THW privatize NHK.
65. THW introduce a common currency in Asia.
66. THW not admit too skinny models.
67. THBT governors of every prefecture should not be reelected more than once.
68. THBT sting operation is justifiable.
69. THW introduce environmental tax.

【List C】 上級者用

1. THW nationalize oil distribution.
2. THW wage war against Russia.
3. THW immediately accept Turkey into EU.
4. THBT progress towards democracy has halted in the Arab world.
5. THBT Japan is a better friend to North East Asian counties than the United States.
(Northeast Asian Open 2005, Final)
6. THW ban the public exhibition of sacrilegious arts. (Australis 2005, ESL semi-final)
7. THBT ASEAN should end its non-intervention policy.
8. THW lift sanctions on Iran. (UBC 2006, EFL final)
9. THBT the US hegemony will be overturned by Asian Hegemony.
10. THW criminalize paying of ransom (UBC 2006, R4).
11. THBT political assassinations are justifiable. (Toronto 2002, R6. modified)
12. TH supports surrogacy for profits. (Toronto 2002, QF)
13. THW promote immigrations into Japan. (Glasgow 2001, R2. modified)
14. THBT the US should get out of the Middle East. (Glasgow 2001, R4)
15. THW remove patents on pharmaceutical drugs from the 3rd world. (Glasgow, R6)
16. THW allow the use of performance-enhancing drugs in sports. (Glasgow 2001, R8)
17. This house would have harsher sentences for celebrity criminals. (MMU 2005, R6)
18. THBT environmentalists should be radical. (Sydney 2000, R8 modified)
19. THW shut down fast-food chains. (Sydney 2000, QF modified)
20. THBT globalization widens the gaps between the rich and poor countries.
(Manila 99, R2)
21. THBT Media has more power to control the people than the government.
(Manila 99, QF)
22. THBT child labor is necessary for developing countries to develop.
(Manila 99, SF for Masters)
23. THW support global nuclear disarmament. (Manila 99, R1 for Masters)
24. THW protect the rights of smokers. (Athens 98, R9 modifies)
25. THBT developing countries need strong dictatorship. (Stellenbosch 97, R1)
26. THBT a terrorist can also be a freedom fighter from a different point of view.
(Stellenbosch 97, QF modified)
27. THBT CTBT is not necessary. (Cork 96, R2 modified)
28. THW like to have a small government than a big one. (Cork 96, OF)
29. THBT security enforcements against terrorism is justifiable in Japan.
(Melbourne 94, R2)
30. THBT space exploration should be continued. (Melbourne 94, R2)
31. THBT we should negotiate with terrorists.
32. THBT we should impose the death penalty on drug smugglers.
33. THBT India and Pakistan should ratify the Comprehensive Test Ban Treaty.
34. THBT Israel should denuclearize herself.

35. THBT globalization marginalizes the poor.
36. THBT religious doctrines are more important than women's rights.
37. THBT economic sanctions do more harms than benefits.
38. THBT strong dictator is better than weak democracy.
39. THBT economic growth is more important than environmental protection.
40. THBT free trade would bring more harms than goods.
41. THBT the protection of farmers in industrial countries is less important than saving people in third world countries.
42. THW ban hate speech.
43. THBT middle east peace process is doomed to fail.
44. THBT the UN definition of refugee should include economic persecution.
45. THBT US foreign policy provokes terrorist reprisal.
46. THBT violent sports should not be broadcasted on TV.
47. THBT lobby groups have become an enemy of democracy.
48. THW commercialize organ donations.
49. THBT western aid should focus on development rather than human rights.
50. THW enforce international ban on child labor.
51. THBT civil liberties must be restricted in the interests of security.
52. THW ban prisoners publishing accounts of their crimes.
53. THW ban criminals from voting.
54. THW put a speed limit on human traffic.
55. THW forget debt in the third world.
56. THW remove patents on medicines from the 3rd world.
57. THW ban performance enhancing drugs in sport.
58. TH supports a one child policy.
59. THBT election campaigns should be fully financed by the state.
60. TH favors affirmative action.
61. THBT media is more powerful than Government.
62. THW broadcast trial on TV.
63. THW ban fascist and Neo-Nazi organizations.
64. THBT bloody sports should be banned.
65. THBT Islamic law is unacceptable in the modern world.
66. THBT veto power in U.N. Security Council can no longer be justified.
67. THBT conditions designed to prevent child labor should be attached to trade agreements.
68. THBT coalition government is better than single-party government.
69. THW abolish inheritance tax.

◆ Appendix 【F】紙上モデルディベート「投票の義務化」

論題は、「本院は、投票を義務化する(This house would introduce compulsory voting)」というものです。各スピーチ後に、簡単な解説を加えます。スピーチの語数と時間数は必ずしも対応していません(全般的にそれぞれ、ここにある原稿は長すぎます)。

(1) Prime Minister Constructive Speech

Thank you Madam chair, and good morning ladies and gentlemen in this house. Today, we are given the motion that this house would introduce compulsory voting. We, the government side strongly support this motion.

First, let me define the motion. "This house" means Japanese government. And, in what way do we make voting compulsory? Our plan is this: if you do not cast a vote in an election, you have to pay 10,000 yen as fine. The kind of election we are going to focus on is national elections, which decide who will be the members of the Diet. This is the proposal from the government side.

We believe that compulsory voting should be introduced in Japan because it would make the Japanese politics better. We have three arguments to support our proposal. First point is "less influence of interest groups". Second point is "more interest in politics". Finally, the third point, which is going to be explained by my partner, is "better politicians". So, let me explain one by one.

First argument is "less influence of interest groups". Our claim is that if we introduce compulsory voting, we can minimize the influence of interest groups, so the results of an election would reflect people's voices more broadly.

Let me give you the reasoning. Under the status quo, most of the people who regularly go to elections are the people who have special interests in politics, such as those who are the members of occupational or professional associations, agricultural cooperatives, or labor unions. If you read newspaper, you can find some articles on how such interest groups are affecting the results of an election in a way that is good for them, but not necessarily good for the people in general.

For instance, in the case of the United States, the National Rifle Association is

opposing any further control on guns. The consequence is that it is very easy to have a gun in the U.S., even for those bad people who would commit crimes. Something similar is happening in Japan, too. Some people want to have more construction work, so they will vote for anyone who can promise it. Because of this, our tax is wasted for unnecessary buildings and highways. We believe that politicians should not be influenced by the small number of people. So, we need to do something to fix this.

Then, what will happen if we introduce compulsory voting? After this, the kinds of people who go to elections would be more diverse, such as young people or workers who usually spend their election holidays having fun or taking a rest. The influence of the interest groups would be reduced and the result of the elections would truly reflect the people's opinions.

Why is this point important? This is because the Diet members should represent the will of all the Japanese citizens. When the Diet members are elected mainly with the supports of the interest groups, the laws they are going to pass would prioritize the benefits of the groups over the interests of all the Japanese citizens. In this way, our proposal is important to make the Japanese politics less partial.

Then, let me go on to the second argument, which is on "more interests in politics". Our claim is that if we introduce compulsory voting, we can promote people to have more interest in politics.

Let me explain how this will happen. Nowadays, a lot of people have little interest in politics. No matter how much you think about which candidate to choose, the impact you can make is very small because you have only one vote. So, people feel helpless and less likely to go voting. If you do not vote, you are less likely to have interest in politics. You do not care even when newspapers report the scandal of politicians like getting bribery. You may say, "That's the politics" and pay no further attention. This is a worrisome situation for democracy.

Then, what will happen if we introduce compulsory voting? Although you have only one vote, you have to go to a voting station. Because you have to do, at least you think about it. You think about which candidate is more preferable than the others.

You look for information. You think about the important issues in our society. Then, you cast a vote. By introducing compulsory voting, we can assure that more people will care about our society.

Why is this point important? Because in order for democracy to work, citizens need to check what the politicians are doing. Politicians will do better work if their efforts are being watched and rewarded with better chances of re-election. If people are not paying attention to what they do, politicians will lose motivation to do things for ordinary citizens.

In summary, I have told you that our proposal will minimize the influence of interest groups. Also, we have told you that our plan would encourage people to have more interest in politics. So for all these reasons, I beg to propose. Thank you. (848 Words)

スピーチについての補足

PM スピーチでは、次のページにリストした 4 点の役割を果たすことが期待されています。それぞれ、スピーチのどの点に相当するのか確認してみてください。

補足をする、定義に関してはこのスピーチ例では投票の義務化を日本の国政選挙で導入する、とされています。論題の中には細かい語の定義をして明確な政策を出す必要のある物もありますが、初心者を対象とした試合では通例、定義の必要がほとんど無い論題が用いられます。

次に、2 点目のどうしてその政策を採用すべきなのか簡潔にまとめた 1 文に関してですが、これは team line 以外にも team stance などと呼ばれる事があります。そして、聞き手にとって分かりやすくするために、自分とパートナーのスピーチの役割分担を示した後で、個々の議論の説明に移ります。

○ PM Speech の役割

- (1) [Definition] 論題の曖昧な語を定義して、Government 側がその試合で証明するプラン(plan)あるいはケース (case statement) を示します。
- (2) [Team line] ケースを証明するチームとして説明する理由 (team line)を大まかに説明します。
- (3) [Allocation] パートナーとの議論の説明の役割分担(allocation) を示します。
- (4) [Argument] 肯定側の主張を、複数の議論に分けて、説明します。

◇ 時間配分の目安: 7 分スピーチで、definition からallocation まで長くて2 分~3 分。各議論に2 分~3 分。最後の30 秒は全体のまとめ。POI は2 回前後、特に定義に関して1 回取る。

次に、野党側の 1 人目のスピーチです。先程と同様に、スピーチ例を示した後で簡単な補足を加えます。

(2) Leader of the Opposition Constructive Speech

Madam chair, and members of this house. Today, the government side has defined the motion as that Japanese people have to pay 10,000 yen when they do not vote. We, the opposition side, strongly believe that this proposal should not be taken because there is no need to force people to vote and people should be given the right not to vote. So, we beg to oppose.

First, let me refute what the previous speaker has said. First, he said this plan would be good because this will invite more people to vote. He also says more voters mean better elections. However, this is not always true. Now, only those who really care go to vote. Then, their plan will force those who don't care about politics in the least to vote. Do you really think that such people will think carefully and make a good decision? I don't think so.

Second, he said that people will have more interests in politics because they are forced to vote. This is simply not true. If you are forced to do something, you tend to have negative feeling about it. Also, when people are not interested in politics and do not want to vote, it is not the voters but the politicians who are to blame. If candidates are not attractive enough for voters, candidates should put more efforts so that voters would appear on the election day. In any case, voters are not the ones to be punished.

Then, let me move on to our arguments. We have three arguments. First point is on the right not to vote. Second point is on less qualified politicians. The last point, which is going to be explained by my partner, is on reckless and irresponsible voting. So, let me explain one by one.

My first argument is on the right not to vote. My claim is that this proposal denies us the right not to vote, which is one of the important ways to express our distrust to what is going on in the Diet. I will explain this point in two steps.

First level is on how the right not to vote is important. Under the status quo, people can express their distrust toward candidates by refusing to vote. In some elections, there are only a few candidates, and it is possible that none of them represent your opinion. In such a situation, you can show your disapproval by not voting. When the

voting rate is low, we can say that the winner of the election failed to obtain the mandate of people. In this way, our refusal to vote can be a way to send a strong message to politicians that none of them are our favorite.

Then, let me explain what will happen when people are deprived of this right. Even when no candidates appeal to you, you are forced to choose one. The voting rate will always be close to 100 percent, so we cannot show our dissatisfactions with the election itself by making the voting rate low. We are going to lose one of the effective ways to send a message to politicians. Therefore, we should not introduce compulsory voting.

Next, let me move on to the second argument, which is about less qualified politicians. I am going to explain that the number of politicians who are just famous and don't have any qualifications will increase if we introduce compulsory voting.

Today, most of the people who vote are those who really care about politics and have a say on our society. Most of the candidates try to appeal to those serious voters and tell us what they are going to do when they are elected. Even though there are some politicians who are just famous and have no knowledge or skills which are necessary to be a lawmaker, the number of such people is relatively small.

However, what will happen when this plan is introduced? Those who have little interests in politics will vote. Then, for political parties, the easiest way to get votes from such population is to recruit famous people as their candidates. It is sad, but pop singers, athletes, and movie stars are more likely to appeal to general public than serious politicians. So, the number of such celebrity candidates will increase.

Why is this a serious problem? This is because those celebrity candidates do not have any experiences in politics. One of the important tasks of politicians is to draft a law. Still, if you are not trained and have no skills, you cannot do such a job. At best, such celebrity politicians would ask bureaucrats or career politicians to do the job instead of them. They won't listen to what we want. What is the point of having more of that kind of Diet Members? So for all these reasons, we beg to oppose.

(813 words)

スピーチについての補足

もし PM のスピーチで出された定義に何か曖昧な点があった場合、極端に相手チームを不利にしない限り、LO はその定義に何か付け加えることが出来ます。その次に、どうしてその提示された政策の導入に反対をするのか、1 文で示します（この 1 文を、team line または team stance と呼びます）。通例は、以下の様な理由が述べられます：

- ① そもそも問題は存在しない。
- ② 問題は存在するが、現状の仕組みで十分対応できる。
- ③ 問題は存在し現状では対応が不十分だが、政府側の示した策よりもより良い解決案がある。
- ④ 問題が存在し現状では対応が不十分だが、政府側の示した案は現状よりもかえって事態を悪化させてしまう。

次にパートナーとの役割分担を説明し、政府側の出した議論に反論を加えた後で、ようやく自分たちの議論に入ります。目安としては、7 分スピーチの場合、反論を終えて議論の説明を始めるまで 3 分程度を費やすのが良いとされています。

○ LO Speech の役割

- (1) [Confirmation of the definition] PM の出した定義を確認し、必要があれば再定義して、Opposition 側が何を否定するのか説明します。
 - (2) [Team line] いかなる理由から反対するかチームとしての理由 (team line) を説明します。
 - (3) [Allocation] ラウンドで自分とメンバーが何を説明するか、アウトラインを示します。
 - (4) [Refutation] 肯定側の出した論点に対して反論(refute)します。
 - (5) [Argument] 反対側の根拠を、複数の議論に分けて説明します。
- ◇時間配分の目安: 7 分スピーチでallocation 終了まで長くて1 分。Refutation 終了まで2 分半。各議論に2 分～3 分。余裕があれば最後の30 秒でまとめをする。POI は2 回程度取る。

それでは次に、政府側の 2 人目のスピーチです。定義に関するやり取りと、パートナーとの役割分担の説明が無い代わりに、政府側も野党側も相手が反論した自分たちの議論を立て直す、という役割があります。

(3) Member of the Government Constructive Speech

Madam chair, and members of this house, let me confirm our team stance. Today, the government side strongly believes that compulsory voting should be introduced in Japan because it would make Japanese politics better. The opposition side has been saying that the status quo is just fine and we don't need to do anything. However, this is not true.

First, let me refute what the previous speaker has said. As their first argument, he said that by not voting, people can send the message to candidates that all of them are not qualified, and our proposal prevents people from expressing their distrust in this way. However, this is not true. Even after taking our proposal, people can write nothing on the paper and drop it into a ballot box. So, this argument does not stand.

Second, he said that after taking our plan, the number of celebrity candidates will increase and this is bad for the Japanese politics. However, their argument is based on the false assumption that all celebrity candidates are bad. We know many good politicians who were involved in the entertainment industry. For instance, Ronald Reagan was an actor. The governor of California was also an actor. Also in Japan, the former governor of Miyazaki prefecture, who used to be a comedian, did a great job. Often, those celebrity politicians can do important reforms because they are supported by the general public and have little connections with the interest groups.

Moreover, even if voters are influenced by the fame of the politicians, voters will learn through experiences. They may choose famous people at first. Still, if they find such celebrity politicians are doing nothing in the Diet, they may think differently next time. In this way, in the long run, we can minimize the harm. So, this argument does not stand.

Then, let me move on to our third argument, which is about "better qualified politicians". My claim is that if compulsory voting is introduced, politicians will improve their skills to get more votes. I will explain this argument in two ways: "better communication skills" and "better policy-making".

First, we believe that if we take this plan, politicians will be more willing to talk with voters and listen to what they want. The reasoning is as follow. Under the current

situation, politicians do not have to communicate with the ordinary citizens because they may not vote. What matters in elections is to get reliable support from specific interest groups. So, politicians prioritize talking with the interest groups over talking with ordinary people. It does not require any skills. You only need to have connections with them.

However, if we take this plan, the votes from ordinary people will be more important and politicians need supports from them in order to win an election. So, they will have more meetings with us. They will try to reach us. They will learn how to appeal to us. In this way, politicians would improve their communication skills. This is important because we believe that good politicians need to be great communicators.

Then, let me move on to the second aspect, which is about “better policy-making”. My claim is that if we take this plan, politicians will improve their policy-making skills in order to represent the diverse concerns of all the citizens. Under the current situation, they have to think about only the small number of people who are sure to cast a vote. So, the kind of policy introduced now is simple and one-dimensional, such as we should build a new highway or we should cut tax for big companies.

Then, what will happen if we introduce compulsory voting? As we have already told you, getting support from a few groups is not sufficient to win an election. They need support from diverse groups of people, which can be a very difficult task.

For instance, elderly people want better social welfare programs, and they want Japanese government to spend more for them. Since elderly people are most likely to vote, politicians just think about them and the government spending for them has been increasing now.

Still, after plan adoption, young people who do not want further tax increase will vote. Those who do not want the amount of national debt to be increased will also vote. So, politicians have to think about how to appeal to those different groups of people. They have to study more. Instead of spending more, which is an easy solution, they must look for the way to better utilize the resources at hand. In this way, politicians will be more thoughtful.

Finally, let me quickly reconstruct my partner's points. The opposition side refuted our first point by saying that most of the new voters will vote recklessly. However, even if people make reckless voting at first, in the long term, they will learn and make better decisions. So, their concern is not important.

Second, they say that compulsory voting does not have any educational effects because people hate what they are forced to do. However, in schools, we are forced to learn, but we learn. Also, in order to live and earn money, we are forced to work, but we may find enjoyment in working. So, their refutation does not stand. So for all reasons, we beg to propose. Thank you. (915 words)

スピーチについての補足

政府側 2 人目のスピーチで期待される役割は、以下の通りです。

○ MG Speech の役割

- (1) [Clarification of Gov. and Opp. stances] 野党側との立場の違いを大まかに説明します(単にteam line を繰り返すだけで構いません)。
- (2) [Refutation] 野党側の論点に対して、反論を行います。
- (3) [Argument] 与党側の新しい論点を、導入します。
- (4) [Reconstruction] 野党側による反論に対して自分たちの論点を立て直します。

◇時間配分の目安: 7 分スピーチで、Refutation 終了まで長くて3 分。新しい議論に2~3 余裕があればreconstruction に1~2 分。最後の30 秒でまとめ。POI は2 回前後取る。

まず 1 つ目の政府側と野党側との立場の違いを明らかにするという点ですが、これは両者の違いを鮮明にして、ジャッジの理解を助ける為の補足的な内容であり、省略しても構いません。次に、4 番目の Reconstruction ですが、スピーチ時間に余裕が無い場合は、特に弱められた議論だけを立て直し、相手の反論の幾らかはそのまま流す事があります。それでは、最後の立論スピーチである否定側の 2 人目のスピーチです。

(4) Member of the Opposition Constructive Speech

Thank you madam speaker, and good afternoon ladies and gentlemen in this house. We, the opposition side strongly believes that this proposal should not be taken because there is no necessity to force people to vote and the present situation is much better. So, we beg to oppose.

First, let me refute what the previous speaker has said. He argued two things. First, he said that if we introduce compulsory voting, politicians will somehow improve their communication skills. However, this is not necessary true. Even now, politicians do debate in the Diet. They deliver a speech in public. They explain their policies to voters. In this way, politicians are already communicating with us. They are already learning how to appeal to us. It is unclear how much difference would be made by taking their proposal.

Second, he said that politicians would improve their policy-making skills because they have to make a policy which appeals not only to interest groups but also to wider ranges of people. However, this argument is just their imagination. We cannot see the clear mechanism of how their proposal will make a difference. Even now, you cannot win an election without the supports from a wide range of people. Politicians are already doing their best to appeal to everyone.

Then, I would like to move on to our third argument, which is about the reckless and irresponsible voting. My claim is that if we take this plan, the number of people who cast a vote without thinking much will increase. Under the current situation, people who go to an election are only those who really have opinions. Those who have nothing to say about politics do not vote. This is what is happening now.

Then, what will happen if all citizens are forced to vote. You are very busy. You have no time to listen to candidates' speeches. You have no time to read newspaper. You have little time to compare which party is closest to your opinion. You do not even know who the candidates are. Still, you are forced to vote. Do you really think you can make a good decision? I don't think so. In this way, the consequence is that the number of votes which are cast without much consideration will increase. The result of an election is less likely to represent what people really care. Now, if you are not sure of who the best candidate is, you don't have to vote and you let others decide.

So, the status quo is much better. Therefore, we should not introduce compulsory voting.

Lastly, let me reconstruct our arguments. First, the government side said that people can drop a ballot sheet without writing any name on it. Still, there are some cases in which people feel angry about having an election itself. For example, many people felt angry about the dissolution of the House of Representatives in the late 2014. The only way to show their dissatisfaction with the election itself was not showing up to vote. The right not to vote should be respected.

Second, he said that celebrity politicians can do better jobs. However, we know many cases of bad celebrity politicians. For instance, the former governor of Osaka, Mr. Yokoyama, was sued for sexual harassment. One of the celebrity politicians of the Democratic Party of Japan, Mr. Ohashi, who won a seat in the Diet resigned only after serving six months. Also, there are many reports of celebrity politicians who have made inappropriate remarks. As these examples clearly show, celebrity politicians are just amateurs. We do not want to increase the number of such amateur politicians who are unqualified for the important and difficult tasks of the Diet members. For these reasons, we beg to oppose. (626 words)

スピーチについての補足

この MO スピーチにて果たされるべき役割は、MG スピーチと同様の以下の4点です。対応するスピーチ箇所を確認してみてください。

○ MO Speech の役割

(1) [Clarification of Gov. and Opp. stances] 肯定側との立場の違いを、大まかに説明します。

(team lineを繰り返すだけで構いません)

(2) [Refutation] 肯定側の議論に対して、反論を行います。

(3) [Argument] 肯定側の新しい議論を、導入します。

(4) [Reconstruction] 肯定側による反論に対して、自分たちの論点を立て直します。

◇時間配分の目安: 7 分スピーチで、Refutation 終了まで長くて3 分。新しい議論に2~3 分。余裕があればreconstruction に1~2 分。最後の30 秒でまとめ。POI は2 回前後取る。

立論スピーチが終わり、今度は試合全体を総括する Reply Speech になります。Reply Speech の一番大切な役割は、どうしてこの試合で自分たちのチームが勝ったのか、ジャッジに説明することです。また、Reply Speech では、野党側からスピーチをします。それでは実際にスピーチ例を見てみましょう。

(5) Leader of the Opposition Reply Speech

Good afternoon ladies and gentlemen again. This round basically comes down to three questions. The first question is: Which is more important, how many will vote or who will vote? The second question is if people will have more interest in and learn about politics. The last question is if politicians will be more thoughtful, reachable, and care a more diverse range of people. So, let me compare what we said and what they said in respect of these questions.

First, let me tell you how we should measure the success of an election. The government side basically assumes that the measure of success of an election is its voting rate. As long as the voting rate is high, the election is good. So, we should force everyone to vote. The failure of the government side today is that they did not explain why higher voter turnout is always good. People may vote irresponsibly, but it is still OK. According to their explanation, after many errors and disappointments, people will someday learn.

On the other hand, we have told you that what matters is not how many will vote but who will vote. When we decide who will be a Diet member, we should spend some time and think carefully. However, if you introduce this policy, some people will vote not because they care about our society but because they just don't want to pay 10,000 yen fine. We don't want our election results to be influenced by such people.

The second question is if people will have more interest in and learn about politics. The government side simply said that because people are forced to vote, they will have more interests in politics.

However, we have pointed out that as long as you are forced to vote, you would rather feel resentment toward politics and do not want to learn about it. Also, we have told you that people will choose candidate irresponsibly. In this way, although we admit that this policy would raise the voting rate, the result itself does not lead to the reflection of concerned citizens' voices.

Finally, let us think about the quality of politicians. As my partner has clearly explained, if we pass this proposal, the number of celebrity politicians is going to

increase, since it is the easiest way to appeal to the people who have little knowledge or interest in politics. Celebrities would attract voters.

However, because such candidates have little experiences in politics, they cannot contribute to the shaping of the national policy. The government side says that they will learn and improve their skills in the future. However, the Diet should not be the place for them to learn by trial and errors. Therefore, this plan should not be taken.

So for all these reasons, the opposition side has won this round. Thank you.

(473 words)

スピーチについての補足

この Leader of the Opposition Reply Speech (LOR) では以下の 4 点について話すことが期待されます。

○ LO Reply Speech の役割

- (1) ラウンドの議論のまとめ
- (2) 勝敗の基準の提示
- (3) 勝敗の基準に照らして、どうして自分のチームが勝ったのか説明
- (4) 自分たちの議論を補強する具体例のさらなる導入。

◇ 時間配分の目安: 4 分の内、各争点、問いごとに1分前後費やす。

このスピーチ例では、ラウンドをまとめるため、そして勝敗の基準を提示するために、試合全体を通して重要な 3 つの問いを抽出し、政府側と野党側それぞれがどうその問いに対して答えていたか振り返り、議論の優劣を説明していました。この様に、Reply Speech では試合全体をまとめる、幾つかの問い (question)、または争点(issue)にしぼって話をすることが一般的です。

この争点に絞ってまとめる方法以外にも、単純に双方の出した議論についての反論の応酬を確認する方法もあります。その場合は、相手の言った議論を列挙し、それぞれに対して自分たちがどのような反論をしたか手短かに言います。そして自分たちの議論はどのようなもので、相手の出した反論がいかに成り立たないか説明して終わります。初めて Reply Speech をする方は、この構成でも良いでしょう。ラウンドの流れを忠実に理解する練習としても有効です。ただ、Constructive Speech で伝えた以上の情報をジャッジに与えることは出来ず、きちんとノートを取っていたジャッジは退屈してしまうでしょう。

それでは最後に、再度首相役の人が壇上に登っての Reply Speech です。Leader of the Opposition Reply Speech と役割は同じです。但し、Member of the Opposition が新しく出していた議論に対して反論することが期待されています。

6) Prime Minister Reply Speech

Thank you chair, and good afternoon ladies and gentlemen again. Today, the opposition side was only looking at short-term consequences of our plan. On the other hand, we the government side have shown what we can accomplish in the long run. Even though our policy may have short term costs, it is sure to give more concrete benefits to our society in the long run. So, we should take this policy and we have to win this round.

First, let me quickly refute the new argument given by the member of the opposition. He said that if we take this plan, the number of people who vote irresponsibly will increase. However, this is not always true because their argument is based on a false assumption that choosing a candidate is an extremely difficult task. You do not have to be an expert of politics to make a rational choice. If you read newspaper articles, you can get the general ideas of who are the candidates. Also, you can watch speeches by the candidates on the TV. It takes at most one hour. So, people can easily decide who to vote rationally, not irresponsibly. Therefore, this argument does not stand.

Then, let me summarize this round. In order to show why we have won this round, we would like to give you two criteria. The first criterion is if our proposal would promote further involvement of citizens to politics. The second criterion is if the celebrity politicians will dominate the Diet. So, let me explain one by one.

Firstly, let us think about if our proposal promotes citizens' further involvement of politics. According to the opposition side, people will hate politics because they have to spend one hour to get information on candidates and spend about 10 minutes to go to an election station. As we have told you, this is a superficial analysis and focusing only on short-term reactions of people. What they could not deny is that more people will be involved with national elections and see how candidates are chosen.

Let me talk about my personal story. I used to have little interest in politics at all. Still, one election changed my view. Several years ago, on an election day, I went to a voting station by chance. It was an elementary school. It was next to the supermarket I went for shopping. I was just curious and went there. I just put the

ballot sheet into the box, without writing anything on it. Still, after that, I came to have strong interest in the result of the election. I went home and watched news reports. For the first time in my life, I felt politics to be something which is very close to me. Since then, I regularly go to vote. I read newspaper articles on politics every day. Without the initial experience, I would still be a person who is not interested in politics at all.

What our proposal is going to achieve is to provide this kind of initial experience to everyone in Japan. Although they may not like it first, I am sure that more and more people will have genuine interest in politics and get involved in it in the end. The opposition side is thinking only about short-term reactions, but we should think about this with a longer perspective in mind. Changes for the future may cost us something; still, the long-term benefits outweigh the small, short-term costs.

Then, let me quickly focus on the second criterion which is about if the celebrity politicians will dominate the Diet. According to the opposition side, most of the new voters will just choose famous candidates. Again, they are thinking only about short-term consequences of our proposal. There may be some people who are influenced by the popularity of the candidates. However, people can learn through experiences. They can learn the way to choose the best candidate in the future. So, if they think that the celebrity candidates are unfit for the job, they can choose someone else.

Also, we have told you that the politicians will learn to communicate more directly with ordinary citizens. If current politicians are worried about the dominance of celebrity candidates, they will improve how they reach the voters. They will also improve their policy so that they can be more attractive to voters. In this way, as we have already explained, even if the number of celebrity politicians increases in the short term, the overall quality of the politicians will be better. So, there is no problem.

In summary, today's opposition side only focused on short-term costs and did not see the long-term benefits of our proposal, which are much more important. So for all these reasons, the government side has to win this round. Thank you.

(798 words)

Member of the Opposition の出した新しい議論への反論を行う以外、先ほどの Leader of the Opposition のそれと同じですが、この Prime Minister Reply Speech(PMR)では以下の役割を果たすことが期待されています；

- (1) Member of the Opposition の出した新しい議論への反論
- (2) ラウンドの議論のまとめ
- (3) 勝敗の基準の提示
- (4) 勝敗の基準に照らして、どうして自分のチームが勝ったのか説明
- (5) 自分たちの議論を補強する具体例のさらなる導入。

このスピーチ例で用いた語数からも分かる通り、PMR は特に話すべき内容が多く、与えられた 4 分間の中で何を優先的に話すのかが注意する必要があります(4 分では全てを言う事は出来ず、何を言うべきか取捨選択する必要があります。上のスピーチ例は、実際は長すぎます)。以上で、北米形式での試合のスピーチ例の紹介は終わりです。

A row of six cute cartoon cats, each holding a fish-shaped umbrella. The cats have various fur patterns: black and white, orange and white, grey and white, black and orange, white with a grey patch, and black and white. The fish umbrellas are pink with white polka dots. The cats are all smiling and looking towards the viewer.

◆ Appendix 【G】 パーラメンタリーディベートで身に付く能力について

[パーラメンタリーディベート(即興式英語ディベート)]

- ・ 英国での議会答弁の訓練のために始まった競技ディベート。
- ・ 2～4 人の与党側と野党側のチームに分かれ、与えられた論題について審判の説得を競う。
- ・ 準備時間は論題が与えられてから 15 分～30 分程度。
- ・ 扱う論題は毎試合異なり、時事問題から古典的な問題または身近な問題など多岐にわたる。
- ・ 審判は「平均的な教養のある市民」とされ、常識的な判断力と知識を用いて勝敗を決める。論理や内容のみでなく、いかに分かりやすく伝えたのかというパブリックスピーキングの観点も踏まえて判断される。
- ・ スピーチで用いて良いのは簡単なメモだけ。
- ・ 証拠の引用は求められない。

- ⇒ 試合のたびに論題が変わるため、幅広い知識や教養を磨く動機付けになる。
- ⇒ 論理性に加えて、日本人が苦手とされるユーモアのセンスも求められ、総合的なパブリックスピーキング能力を磨ききっかけとなる。
- ⇒ ゲームとしての楽しさがあり、また練習を通して人前で英語で話すことに自信を持つことができるようになる。
- ⇒ 競技の特性から、他校の生徒や海外の生徒と気軽に試合をする事が可能であり、国際交流の機会として利用が可能である。
- ⇒ 即興的な英語のスピーキング力が求められる競技であり、より実践的な英語能力が身に付く。

[ポリシーディベート (「アカデミックディベート」)]

- ・ 米国で弁護士の裁判での答弁の訓練のために始まった競技ディベート。
- ・ 1 チーム 2～4 名でスピーチを行い、ある論題に対して肯定か否定か議論を競わせる。
(リサーチだけを専門に行う者など、実際にはスピーチをしない者もいる)
- ・ 論題は基本的に「～は…すべきである」というある政策の是非に関わるもので、1 つの大会では 1 つの論題しか用いない。
- ・ 論題の発表から試合まで数ヶ月から 1 年間ほどリサーチのための準備期間がある。
- ・ 審判は洗練されたディベート理論を理解した専門家で、立論や反論のスピーチでは特別の体系だった方法に従うことが期待されている。
- ・ 予め書いておいた原稿を読み上げて立論を行う。相手のスピーチへの応答は出来るだけ想定問答集を作るなど事前に予測し訓練しておく。
- ・ 膨大な量の証拠資料を用いる。

- ⇒ 時間をかけて練った論理と、リサーチを通して得た証拠を駆使して戦うため、真面目に根を詰めて練習をするという点では高校の授業向きと言える。
- ⇒ 準備期間が長く、試合で扱われる論題が半年から 1 年で 1 つのため、英語力に課題がある者にとって参加しやすい。
- ⇒ 特定の分野についての知識が深まる。

[H] (1)新緑杯のルールに関する重要事項の抜粋

2014 年 6 月 15 日版

◆ 禁止事項

- 1) 本大会では、他のパラメンタリーディベートの大会と同様、論題発表後の準備時間そして試合中にチームのパートナー以外の者と口頭またはメモ等で相談することを禁じます。
- 2) 準備時間中、そして試合中には、携帯電話およびインターネット接続の可能な電子機器の使用を禁じます。また、ストップウォッチとして携帯電話を使用することも禁じます。電子辞書の使用は可能ですが、タブレット型端末(iPad など)の利用は禁止します。

◆ 試合進行上のルール

- 1) 試合のルールは、North American Style のそれに準拠します。ただし 1 チーム 3 名で、Reply Speech は 1 人目のスピーカーではなく、3 人目のスピーカーが行うものとします。
- 2) Point of Order (試合中に対戦相手のルール違反を指摘する行為) は禁止します。ルール違反があった場合、ジャッジが判断をするものとします。試合進行上支障をきたすルール違反があった場合、ジャッジが適切な処置をします。
- 3) Point of Information (POI) を行う場合、まずは席から立ち、その次に「Point」「Point of Information」といった表現で POI による発言の許可をスピーカーに求めてください。(起立しているならば、その間中は継続してスピーカーに POI をする意思があると伝わります)。

◆ ジャッジングに関して

- 1) 試合の勝敗は、議論全体の優劣を総合的に判断して決定されます。
- 2) 各スピーチの採点方法

個人得点は、以下の基準に基づいて与えられます：

(注：以下の採点帰順は、英会話の授業でのスピーキングテストの採点帰順を模して作られました。初心者を出るだけ客観的に採点するために、あえて機械的にスコアを出せるようになっています。他の英語ディベートの大会では、このような細かい採点の指示はありません。まずは Matter 以外の項目がほぼ満点になるように練習をさせてください)

【Constructive Speech に関して】

I. 話し方に関して (Manner)

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Constructive Speech は 5～7 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) 議論の構成 (Structure) [1 or 0 point]

- ・以下の 3 点がスピーチを通じて満たされている場合 1 点、いずれかに問題があった場合 0 点となります：
 - a) 分かりやすいサインポストを明確に示した。
 - b) 議論の構成がわかりやすい (例えば、現状分析、問題解決の仕組み、重要性など小項目に分けて説明していた場合など)。
 - c) 相手チームへの応対 (反論そして議論の立て直し) において、相手のどの発言に対して応答しているのか明確であった。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [3 ～ 0 point(s)]

- 以下の 4 点がスピーチを通じて満たされている場合 2 点となります。1 箇所の項目に問題がある場合は 1 点になります。2 箇所以上に問題がある場合、0 点となります。:
 - a) 効果的なアイコンタクトの使用
 - b) 十分な声の大きさ
 - c) 効果的なジェスチャーの使用
 - d) 表情による効果的な表現

II. スピーチ内容に関して (Matter)

1) 論証の内容 (Reasoning) [2 ～ 0 point(s)]

- 納得のいく論証がスピーチを通じて述べられていた場合、2 点
- 理解はできるが疑問の余地のある論証が述べられた場合、1 点
- 明確に論証に問題がある場合、または論証が欠落している場合、0 点

2) 議論の具体化 (Elaboration) [2 ～ 0 point(s)]

- 2 つ以上、議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、2 点。
- 1 つ示された場合、1 点。
- 1 つも示されなかった場合、0 点。

3) 相手のスピーチへの応答 (Response) [2 ～ 0 point(s)]

- 相手からの反論にすべて、効果的な議論の立て直し(Reconstruction)を行い、また相手チームの議論に対して効果的に反論を行った場合、2 点。
- 相手のチームへの応答は行ったが、反論または議論の立て直しのいずれかにおいて、1 つの内容が不十分であった場合、1 点
- 反論または立て直しのいずれかをまったく行わなかったか、2 つ以上反論または議論の立て直しが不十分であった場合、0 点。
- PM は、積極的に POI を行ったかでこの項目を判断します(POI を取って貰えたか、POI の中身自体が良い物であったかについては考慮しません)

III. スピーカーの役割 (Speaker's Role)

それぞれのスピーカーに特有の 3 つの役割に関して、それぞれ果たされていた場合 1 点ずつ加点します。

1) Prime Minister

- 論題の定義が明確に示されていたか。
- チームライン (チームとしての主張を簡潔にまとめた 1 文、必ずしもチームラインという用語を使わなくても良い) を明確に示したか。
- サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

2) Leader of the Opposition

- Prime Minister から提示された定義に明確に応答していたか (定義を受け入れるが反対の立場をとる、といった事を明確に述べたか)。
- チームラインを明確に示したか。
- サインポストを提示して議論の役割分担 (team allocation) が明確に示されたか。

3) Member of the Government & Member of the Opposition

- ・パートナーの提示した team line を確認したか（繰り返し述べるだけで十分）。
- ・パートナーの提示した議論に対して、追加の説明（新しい具体例、追加の論証の説明）を行ったか。
- ・分担された議論を十分に説明したか。

【Reply Speech に関して】

1) スピーチ時間 (Time Management) [1 or 0 point]

- ・スピーチ時間は、Reply Speech は 3～4 分です。
- ・スピーチ時間の過不足が、30 秒以内であれば 1 点、それを超えた場合は 0 点となります。

2) スピーチの構成 [0 or 1 point]

- ・これから何を説明するか冒頭で説明した場合、1 点。その説明がない場合や、分かりにくい場合は 0 点。

3) スピーチの仕方 (Delivery) [2 ～ 0 point(s)]

- ・立論スピーチでの評価基準と同じです。

4) 試合の争点 (Key Issues) [2 ～ 0 point(s)]

- ・試合全体を、Key issues, Clash points, Key Questions といった新しい観点で効果的に総括した場合、2 点。
- ・試合全体を新しい観点で総括したが、観点の選択が効果的ではないか、いずれか 1 つの観点による説明が不十分であった場合、1 点
- ・新しい観点に立った総括をしなかった場合か、観点における説明が 2 つ以上不十分であった場合、0 点。

5) 具体化 (Elaboration) [1 or 0 point]

- ・議論を効果的に根拠づける良い具体例や具体的な描写を示した場合、1 点。
- ・1 つも示されなかった場合、0 点。

4) Point of Information に関して

a) POI を求めることに関して

- ・各スピーカーは、相手チームのそれぞれスピーチにおいて、2 回以上 POI に立つことが求められます。POI に対してあまりに消極的である場合、1 つのスピーチにつき 1 点がチーム得点から減点されます。

b) POI を取ることに関して

各スピーカーは、自分のスピーチにおいて、POI を 2 回程度取ることが期待されます。もし、POI を受けることを意図的に避けていると判断された場合、そのスピーチから 1 点が減点されます。

もし相手チームから POI の求めが十分になかった場合、減点はされません。例えば、相手チームが POI にほとんど立たなかった場合、POI が可能な時間のぎりぎりに突然立ち始めた場合などは、この「意図的に POI を避けている」場合には当たらず、減点対象とはなりません。

Spring Greenery Cup Score Sheet

Date / / Round 1 / 2 / 3 Room Judge's name:

motion:

Gov. Team Name: : ()		Opp. Team Name: ()	
PM	MG	LO	MO
name			
Evaluation		Evaluation	
Time Management	0 / 1	0 / 1	0 / 1
Structutre	0 / 1	0 / 1	0 / 1
Delivery	0 / 1 / 2 / 3	0 / 1 / 2 / 3	0 / 1 / 2
Reasoning	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	
Elaboration	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	0 / 1
Response	0 / 1 / 2	0 / 1 / 2	
Role Fulfillment	0 / 1 / 2 / 3	0 / 1 / 2 / 3	
Key Issues			0 / 1 / 2
Total	/14	/14	/7
Team Penalty (POI)			
Team Score		Team Score	
() + () - () = ()		() + () + () - () = ()	
PM Total	Member Total	Reply	POI Penalty
Team Total			
Government Team		Opposition Team	
win / lose		win / lose	
Side of the Winning Team Gov / Opp		Name of the Winning Team ()	
Judge's signature			

Winner: GOV / OPP

DATE _____

vs OPP

JUDGE

Opposition Side					Government Side					
Third Point	Second Point	First Point	Definition / Team Line		Third Point	Second Point	First Point	Definition / Team Line		
										PM
										LO
										MG
										MO
										LOR
										PMR

授業で行う Short Debate



【はじめに】

HPDU 理事長の北原隆志(渋谷教育学園渋谷中学高等学校)が作成した、授業で英語ディベートを行うための資料です。

この資料を使って、明日からでも授業そして部活でディベートを始めてみてください。

<目次>

- [A] 先生用マニュアル (p.95)
- [B] 司会用スクリプト (p.96~97)
- [C] 生徒用プリント (p.98~100)
- [D] 座席の例 (p.101)
- [E] スピーカー用 準備用紙 (p.102~107)
- [F] ジャッジ注意事項 (p.108)
- [G] ジャッジ用シート (p.109)

◆ [A] 授業で行う Short Debate 先生用マニュアル

○ 進め方

- ① 前の時間やホームルームなど、事前にジャッジを必要人数分決めさせます。英語ディベート部員、英語圏からの帰国生がいたらジャッジをやらせて下さい。それでも足りない時はクラスから英会話を得意とする人を選出させて下さい。ジャッジの人数については②を参照してください。
- ② 前の時間、あるいは Debate の授業当日一番にチーム分けをします。Government(肯定側) 3 人のチーム対 Opposition(否定側) 3 人のチームにジャッジが 1 人つく組み合わせが基本となりますが、クラスの数によっては 2 人対 2 人にジャッジ 1 人という組み合わせや、3 人対 2 人にジャッジが 1 人という組み合わせが出る場合もあります。

例) 28 人クラスの場合 : [3 対 3 + ジャッジ 1] が 4 グループできます。
36 人クラスの場合 : [3 対 3 + ジャッジ 1] が 3 グループ、[2 対 2 + ジャッジ 1] が 3 グループできます。
35 人クラスの場合 : [3 対 3 + ジャッジ 1] が 2 グループ、[2 対 2 + ジャッジ 1] が 3 グループ、
[3 対 2 + ジャッジ 1] が 1 グループできます。
- ③ 話し合いができる体制ができたなら、相手チームの代表とジャンケンをするように言って下さい。勝ったチームが Government side(肯定側)、負けたチームが Opposition side(否定側)となります。
- ④ 各チームから 1 人、教卓に來させ、Preparation Form を渡して下さい。その際、Government side(肯定側)用と Opposition side(否定側)用が異なりますのでご注意ください。
- ⑤ 全員が着席したら、スピーチをする順番を決めるように指示して下さい。2 人チームの場合は the 1st speaker が the 3rd speaker を兼任しますので、そのこともお伝えください。

<ここまですを 10 分、長くても 13 分で終わらせたいですね>
- ⑦ いよいよ debate の開始です。下の time schedule と次ページからの Script に従って進めてください。

■ 追加で生徒に説明が必要なこと

【signpost の作り方について】

サインポスト(標識)とは、聞く人がノートを取りやすいように議論を数語でまとめた名詞(句)です。例えば : health problem / better education / popularity / economic harm / unemployment
議論を考えるヒントとして、教員があらかじめサインポストを与えても良いでしょう。

【definition について】

何に対して賛成・反対するのか混乱を防ぐために、肯定側の 1 人目のスピーカーが与えられた論題の細部を「こう解釈します・こう設定します」と決めることです。たとえば、「We should make education free」という論題が与えられた場合、「大学の授業料の無償化」から「国による全国の小中学校での学力調査の廃止」、そして「制服の廃止」まで解釈の可能性があります。大学生の大会では、意図的に曖昧な論題を与え、肯定側と否定側で定義をめぐる駆け引きをさせることがよくあります。高校の授業で行う際は、選手が定義を考えるのではなく、論題の定義は教員が全体に提示する方が好ましいでしょう(先ほどの例では、そもそも生徒に与える論題を“Japanese government should make university tuition free”という形にします)

*それぞれより詳しい説明は HPDU のサイトの他の教材をご覧ください。

◆ [B] 授業で行う Short Debate 司会用マニュアル (Script)

*以下の進行マニュアルで、司会が言う台詞は**太字**で示されています。

[1] 本日の motion(論題)の発表

- **The motion for today is this.** [板書して下さい↓]

Motion: This house (この議会) believes that... や This house (この議会) would ... という形が一般的です。HPDU の資料をご覧くださいと色々と載っていますので、ご参照下さい。

- **10 minutes to prepare. Ready, start!** (時間を計ってください)

この間にジャッジを呼んで judge sheet と注意事項が書かれた紙を渡します。Judge sheet には自分の氏名を書き、debate が始まる前に両チームに各スピーカーの出席番号、および氏名を書かせるように指示して下さい。また、注意事項を必ず読んでおくように言って下さい。

[10 分後] ○ **Time is up!**

[2] 肯定側 the 1st speech by Prime Minister

- **Prime Minister, Stand up, Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。
開始から 3 分後 Time is up!

[3] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

[4] 否定側 the 1st speech by Leader of the Opposition

- **Leader of the opposition side, Stand up, Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。
開始から 3 分後 Time is up!

[5] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

[6] 肯定側 the 2nd speech by Member of the Government

- **Member of the government side, Stand up, Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI (相手に対する質問) をして良い時間です。
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。
開始から 3 分後 Time is up!

[7] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

[8] 否定側 the 2nd speech by Member of the Opposition

- **Member of the opposition side, Stand up. Please make 3 minutes speech.**

開始から 1 分後 手を叩いてください。ここから POI（相手に対する質問）をして良い時間です。
開始から 2 分 30 秒後 手を叩いてください。これで POI の時間は終わりです。
開始から 3 分後 Time is up!

[9] Preparation Time

- **Teams, you have one minute to prepare before I call up the next speaker.**

[1 分後]

[10] 否定側 the 3rd speech by the Reply speaker

- **Reply speaker for the opposition side, Stand up. Please make 3 minutes reply speech.**

[3 分後] ○ **Time is up!**

[11] 肯定側 the 3rd speech by the Reply speaker

- **Reply speaker for the government side, Stand up. Please make 3 minutes reply speech.**

[3 分後] ○ **Time is up!**

[12] ジャッジによる勝利チームの発表

- **Judges, you have one minute to decide the winner and the best debater in your house.**

[1 分後]

- **It's time for the judges to announce the winner and the best debater.**

- **Please tell the speakers why you decide it and give some advice to them.**

時間が許す限り ジャッジによる講評の時間を続けさせ、終了。

【Time Schedule】 *45 分または 50 分 1 コマの授業用

【グループ分け・役割決め】 10 分程度
【Preparation Time】 10 分
【試合】 (22 分) ・ PM 3 分 + 1 分の準備時間 ・ LO 3 分 + 1 分の準備時間 ・ MG 3 分 + 1 分の準備時間 ・ MO 3 分 + 1 分の準備時間 ・ Opposition Reply 3 分 ・ Government Reply 3 分
【ジャッジの講評】 5～8 分程度

◆[C] 授業で行う Short Debate 生徒用プリント

【試合の流れ・やり方】

①【グループに分かれる】

Government(肯定側) 3 人のチーム対 Opposition(否定側) 3 人のチームにジャッジが 1 人つく組み合わせが基本となりますが、クラスの人数によっては 2 人対 2 人にジャッジ 1 人という組み合わせや、3 人対 2 人にジャッジが 1 人という組み合わせが出る場合もあります。

例) 28 人クラスの場合: [3 対 3 + ジャッジ 1] が 4 グループできます。

36 人クラスの場合: [3 対 3 + ジャッジ 1] が 3 グループ、[2 対 2 + ジャッジ 1] が 3 グループできます。

35 人クラスの場合: [3 対 3 + ジャッジ 1] が 2 グループ、[2 対 2 + ジャッジ 1] が 3 グループ、
[3 対 2 + ジャッジ 1] が 1 グループできます。

まずジャッジを必要人数分決めます。慣れてくれば誰でも良いのですが、最初は英語ディベート経験者、英語を得意とする人、よろしくお願いします。

②【肯定否定・役割分担決め】

次に先生の指示に従い、ジャッジを除いたメンバーでチーム分け、および side 決めをします。Government / Opposition のサイドが決まったら、チーム内で話し合っ、役割を決めます。それぞれ、以下のように 3 つの役割があります。

[Government side] 1 人目のスピーカー: Prime Minister
2 人目のスピーカー: Member of the Government
3 人目のスピーカー: Reply Speaker

[Opposition side] 1 人目のスピーカー: Leader of the Opposition、
2 人目のスピーカー: Member of the Opposition
3 人目のスピーカー: Reply Speaker

③【準備時間】

先生が論題 (motion) を発表します。

10 分間で Argument(理由)を 2 つ考えます。この間、ジャッジは先生と打ち合わせをします。

④【試合開始】

時間が来たら、ジャッジがお誕生日席になるように肯定側と否定側が向き合った形で机を並べ、先生の指示に従って Debate をスタートします。各人の役割とスピーチの流れは以下の通りで、全て先生の合図で進めていきます。

【試合全体に関わること】 POI [point of information]について

相手側の第 1、第 2 speaker のスピーチ中の開始後 1 分から 2 分 30 秒の間、自分たちの side に有利になるような質問を積極的にすること。質問をする際はその場に立ち、手を上げて“Point!”あるいは“Point of information!”とか、単純に speaker が男性なら“Sir!”、女性なら“Madam!”と言う。Speaker に“Yes, please.”と言われたら 15 秒以内で質問をする。Speaker は全ての POI をとる必要はないが、少なくとも 1 つは受けなければならない。断る時は“No thank you.”と言う。話の区切りで受けようというのであれば、“Later please.”と言って待たせておき、“Go ahead.”とか“Please.”と言って質問を受ける。

*POI は、相手のスピーチの切れ目に立つように心がけると、お互い取りやすくなります。

*POI を 2 回ほど取らないと、3 分間のスピーチを時間いっぱい続けることは難しいかもしれません。

1. Government Side Prime Minister 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶と論題の確認
- (2) Definition 論題であいまいな語があれば定義して、Government 側がその試合で証明する plan あるいは case statement を示す。（*注 試合を混乱させないように、教員があらかじめ定義をしている場合もあります）
- (3) First argument 最初に肯定側の第一の主張を名詞でわかりやすく表現し（議論の見出し・トピックのことで、「サインポスト（標識）」と呼ばれます）、その後文章で説明。論理だけでなく、説得力のある例を挙げること。

2. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Government Side の the 1st speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

3. Opposition side Leader of Opposition 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶
- (2) Refutation 肯定側が出した First argument に対し反論する。
- (3) First argument 最初に否定側の第一の主張を名詞でわかりやすく表現し（「サインポスト」を出す）、次に文章で表現する。続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

4. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Opposition Side の the 1st speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

5. Government Side Member of Government 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶
- (2) Refutation 否定側が出した First argument に対し反論する。
- (3) Reconstruction 自分たちの First argument に対する否定側からの反論に対し、さらに反論する。
- (4) Second argument 第二の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。
続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

6. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Government Side の the 2nd speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

7. Opposition Side Member of Opposition 3分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶
- (2) Refutation ① 肯定側の First argument に対する Reconstruction を崩すようさらに反論する。
- (3) Refutation ② 肯定側の Second argument に対して反論する。
- (4) Reconstruction 自分たちの First argument に対する肯定側からの反論に対し、さらに反論する。
- (5) Second argument 第2の主張を名詞でわかりやすく表現し、次に文章で表現する。
続いて、その主張について論理的な理由を述べる。さらに説得力のある例を挙げること。

8. Preparation Time

チームでの話し合い1分間（もし Opposition Side の the 2nd speaker のスピーチが早く終わった場合は、その時点から話し合いを開始することができる）

<注意： Reply Speech では、Opposition Side が先に話します。両者の間に準備時間はありません>

9. Opposition Side Reply speaker 3 分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶
- (2) Summary いくつかの争点（clash point）に絞って総括し、いかに否定側が肯定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出した自分たちの二つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。 *注）大会によっては、Reply Speech では新しい例も出してはいけないことになっている場合もあります。

10. Government Side Reply speaker 3 分間（スピーチの間、他の人は話をしてはいけない）

- (1) 挨拶
- (2) Summary いくつかの争点（clash point）に絞って総括し、いかに肯定側が否定側よりも優れていたかを説明する。その際、新しい議論は出してはいけないが、すでに出した自分たちの二つの議論を補強するさらなる具体例を導入しても良い。

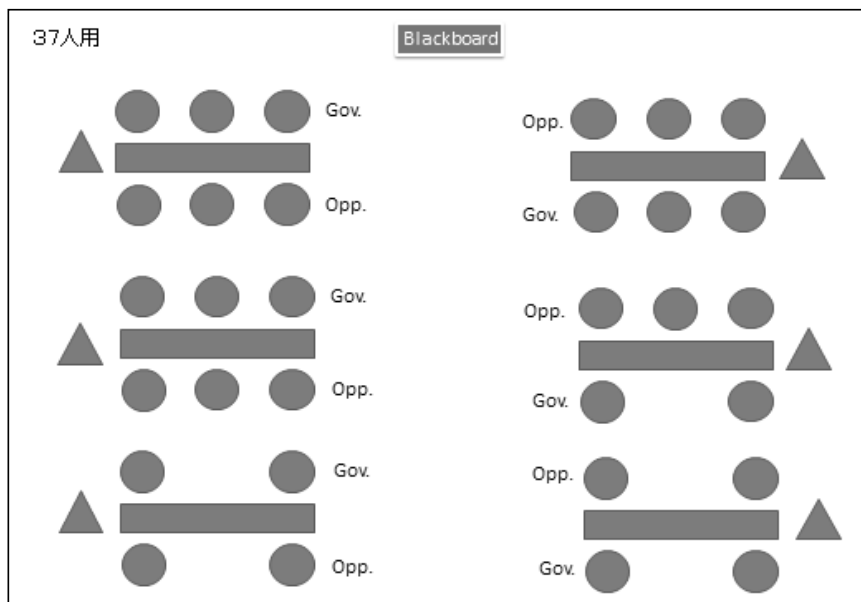
11. 試合後のまとめ・ジャッジの講評

- (1) ジャッジによる vote
1 分間じっくりと考えた上でどちらのチームに票を入れたか英語で発表する。
- (2) ジャッジによる Oral Adjudication
ディベーターに対して勝敗の判断理由を英語で丁寧に説明する。
- (3) ジャッジはジャッジシートを先生に提出する。

◆ 注意

- ① 各 speaker は別紙のフォーマットに従って英語で発表して下さい。見ながらやってもかまいません。
- ② 学習していない単語や忘れてしまった単語については簡単な単語を使い、似たような意味を持つ英文を作っていけば自分の言いたいことを伝えることができます。
例）He is respected by many people.（尊敬されている）→Many people think he is great, and like him.
- ③ 学習していない単語や度忘れしてしまった単語で、どうしても簡単な表現に直せない場合は、その日本語を英語のように発音すれば使ってもかまいません。ただし、その際も英語の文型にそれを当てはめる形で行うこと。 例）*Dokutokage* are very dangerous. There is a beautiful *kabin* on the desk.
- ④ 「形容詞のみ」「好き嫌い」「助動詞が入った文」は論理的な理由になりません。
例）We should have a dog as a pet because it is very cute.←×
Cats are better than dogs because I like them.←×
- ⑤ 一度の発言に理由は一つのみ。2 つも 3 つも言わないこと。
- ⑥ 今回のディベート練習では、reason をサポートする証拠をいかに的確に、かつ有効的に示せるかに重点を置いています。英語力の根本は話す内容を持っていることです。社会の授業や自学で得た知識や、論題に関して授業で事前にプリントが配られている場合は、その情報を積極的に使うこと。
- ⑦ スピーチ中は辞書やその他プリントは見えてはいけません。見て良いのは Preparation Form のみとします。

◆ [D] 座席の配置例



- ・ ●がディベーター、▲はジャッジです。教員は黒板の前でタイムマネジメント(司会)をします。
- ・ 各チーム、ジャッジに近い方から 1st speaker、2nd speaker、3rd speaker の順番で座ります。
- ・ 各チーム、3 対 3 がベストですが、数が合わないということもよくあります。その際は、図のように 2 対 2, 3 対 2 で行って下さい。1st speaker が 3rd speaker を兼ねるのが良いと思います。
- ・ ジャッジを 2 人で行うというパターンも可能です。



■ PM (Prime Minister) preparation form (肯定側・1 人目)

[3 分スピーチ / POI あり]

挨拶 Good [morning/afternoon] everyone in this house. (*左の house とは「議会」のことを差します)

論題 Today, we are given the motion that : (↓論題を書き写しておき、スピーチで読み上げる)

We, the government side strongly support this motion.

[以下は定義が必要な場合だけ使うこと。それ以外は省略]

Let me define the motion.

[.....]

導入 We have two arguments. [↓サインポスト(これから説明する議論を数語の名詞(句)にまとめたもの)を読み上げます]

Our first argument is [.....].

Our second argument is [.....]. ←2 つ目は MG が説明します。

議論 So, let me explain our first argument. It is [.....]. [←サインポストを入れる]

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1 つ目の議論全体を 1 文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶 So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

■ LO (Leader of the Opposition) preparation form (否定側・1 人目)

[3 分スピーチ / POI あり]

挨拶 Good [morning/afternoon] everyone.

論題 We, the opposition side strongly believes that : (↓ 論題を否定文にした文を読み上げる)

反論 Let me refute what the previous speaker has said.

First, [he / she] said : [肯定側の 1 つめ目の議論を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

導入 Now, we have two arguments.[↓ サインポスト(これから説明する議論を数語の名詞(句)にまとめたもの)の読み上げ]

Our first argument is [] .

Our second argument is [] , ← 2 つ目は MO が説明します。

議論 So, let me explain our first argument. It is [] . [← サインポストを入れる]

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1 つ目の議論全体を 1 文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶 So for all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

■ MG (Member of the Government) preparation form (肯定側・2 人目)

[3 分スピーチ / POI あり]

挨拶	Good [morning/afternoon] everyone.
反論	First, let me refute what the previous speaker has said. First, [he / she] said : [否定側の 1 つ目の議論を要約する] However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明] So, their argument does not stand.
立て直し	Now, let me reconstruct my partner's argument. The previous speaker said : [否定側に反論された内容を要約する] However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論への反論] Therefore, our first argument still stands.
議論	Next, let me explain our second argument. It is []. [←サインポストを入れる] Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1 つ目の議論全体を 1 文でまとめて説明] Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明] I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]
挨拶	So for all these reasons, we beg to propose. Thank you.

■ MO (Member of the Opposition) preparation form (否定側・2 人目)

[3 分スピーチ / POI あり]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

MG の
議論の
立て直
しへの
反論

First, let me examine what the previous speaker said to reconstruct their first argument.

Member of the Government said : [LO の反論に対して、MG が立て直したことを要約する。]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

MG の
新しい
議論に
反論

Next, let me refute their second argument.

[He / She] said : [肯定側の 2 つ目の議論を要約する。]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

So, their argument does not stand.

立て
直し

Now, let me reconstruct my partner's argument.

The previous speaker said : [肯定側に反論された内容を要約する]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論への反論]

Therefore, our first argument still stands.

議論

Next, let me explain our second argument. It is []. 【←サインポストを入れる】

Our claim is that : [トピックセンテンスのように、1 つ目の議論全体を 1 文でまとめて説明]

Our reasoning is as follows. [主に原因と結果の流れを説明することで、議論を詳しく説明]

I'll give you some [evidence / examples]. [議論の証拠や具体例を説明する]

挨拶

For all these reasons, we beg to oppose. Thank you.

■ Reply Speaker(Opposition) preparation form (否定側・3 人目)

[3 分スピーチ / POI なし]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

導入

In order to summarize this round, we need to ask two questions.

First question is : [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]

Second question is: [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]

So, let me explain one by one.

争点

①

Now, let's think about the first question: [1 つ目の問いを繰り返して確認]

What the government side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue.

争点

②

Now, let's think about the second question: [2 つ目の問いを繰り返して確認]

What the government side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

So, what they said was quite doubtful.

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue, too.

挨拶

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

■ Reply Speaker(Government) preparation form (肯定側・3 人目)

[3 分スピーチ / POI なし]

挨拶

Good [morning/afternoon] everyone.

反論

②

First, let me refute their second argument.

[He / She] said : [MO が出した否定側の 2 つ目の議論を要約する。]

However, this is not [true / always true / relevant / important] because: [反論の説明]

Therefore, their argument does not stand.

導入

Next, let me summarize today's round. This round comes down to two issues.

First issue is : [試合をまとめる上で大切だと思う争点を疑問文の形で示す]

Second question is: [試合をまとめる上で大切だと思う問いを疑問文の形で示す]

So, let me explain one by one.

争点

①

Now, let's think about the first issue: [1 つ目の問いを繰り返して確認]

What the opposition side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue.

争点

②

Now, let's think about the second issue: [1 つ目の問いを繰り返して確認]

What the opposition side said about this is : [問いに関して肯定側が言ったことの要約]

However, we pointed out that this is not [true / always true / relevant / important] because:

On the other hand, we have proved to you that : [問いに関して否定側が言ったことの要約]

Therefore, our side is superior on this issue, too.

挨拶

For all these reasons, we have won this round. Thank you.

◆ [F] ジャッジの注意事項

【試合中にすること】

- ・スピーチは立って行ないます。スピーカーが座っていたら、Please stand up.と声をかけて下さい。
- ・スピーチの最中は誰も話をしてはいけません。話をしたら注意して下さい。ただし、与えられた時間よりも早くスピーチが終わった場合は、他のグループがスピーチをしていても次のスピーチについての話し合いを始めてもかまわないことになっています。ただし、あまり大きな声で話していたら注意して下さい。
- ・スピーチの間はジャッジも話をしてはいけません。たとえスピーカーの言っていることがわからなくても意味を聞いたりしないで下さい。自分に伝わってこなかったらそれはスピーカーの責任ですから、理解できた部分だけを評価して下さい。ただし、スピーチとスピーチの間の準備時間であれば、「あれはこういうことですね。」と少し確認しても問題はありません。
- ・POIの記録：相手側の第1および第2スピーチに対して1人必ず一回はPOIをしなければなりません。誰かがPOIの意思を示し立ち上がったら、その都度、ジャッジシートのその人のPOI欄の○にチェックを入れてください。POIの数が多ければ多いほど積極的な選手ですので、ベストスピーカー決定の際はスピーチに加えて評価に入れて下さい。また、スピーカーはPOIを最低1回は取らないといけなくなっています。全くとらなかった場合は消極的なスピーカーだと評価して下さい。

【勝敗の決め方・フィードバックの仕方】

- ・最終的に勝敗を決めるポイントは、「どちらの意見の方がより論理的で説得力があったか」ということです。英語スピーチ力が高いと話に説得力が増すことは確かですが、あくまでも論理を大切に、決して英語の発音や流暢さを勝敗の理由にしてはいけません。
- ・スピーカーが出した意見のうち反駁していないものがあっても、いろいろ出された意見の中でこれが圧倒的に強いと思うものがあれば、それを出したチームを勝ちにします。
- ・両者とも論理的に本当に強弱がつけがたいという場合は、より多くの適切な具体例を出した方を勝ちにすると良いでしょう。Quoteの数が多く効果的に使われていれば高く評価して下さい。
- ・ベストスピーカーは一番説得力のあったスピーチを行なったと思う人を選びます。①定義づけや反駁、建て直し等それぞれの役割を果たしていたか、②POIを積極的に行なっていたか、③論理性は高かったか、④Quoteや具体例を効果的に使っていたかで決めて下さい。それでも甲乙がつけられない時はスピーチ力(=アイコンタクト、話し方などスピーチコンテストで評価されるような力)を考慮に入れて決定してください。
- ・Feedbackは**必ず英語で**行なってください。勝敗を決めた理由をできるだけわかりやすく伝えて下さい。その後、スピーカー1人1人に対してアドバイスをして下さい。その際、良かった点と改善したほうが良い点、その両方を必ず言って下さい(60%良かった点、40%改善点をお願いします)。

スピーカーへのアドバイスのポイント

- ① presentation の仕方：英語の聞き取り易さ、速さ、強弱、ジャッジへのアイコンタクト
- ② procedure に沿っていたか：順番通りに議論を進め、役割をしっかりと果たしていたか
- ③ contents の質：論理的に主張を展開できたか、example の量とその効果
- ④ time management：3分間を有効に使うことができたか、反論に時間がとられ主張の時間がなくなったりはしなかったか
- ⑤ POI、POI に対する受け答え：各人、1つ以上行なったか、効果的だったか

Judge Sheet

Judge: _____

date: / /

Motion:

Gov: PM

Opp LO

MG

MO

RP

RP

PM [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]	LO [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]
MG [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]	MO [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]
GR [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]	OR [POI ○○○○○○○○○○○○○○○○]

Winner: Gov or Opp

Best Speaker: _____

もっと練習をしたい方へ

下の HPDU という団体のホームページ内の「参考 英語ディベート教材」という所にある、以下の教科書を使い練習してみてください(PDF ファイルがダウンロード可能です)。

- ・「Book 1 高校生のための初めての英語ディベート」
- ・「Book 2 初めての英語パラメンタリーディベート」

また練習会や大会などについての情報は、以下の団体のホームページをご覧ください。

<高校生の人向け>

- ◆ 一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟 (HPDU)
<https://www.hpdu.jp>

<大学生向け>

- ◆ 日本パラメンタリーディベート連盟
(名称とその規約からは分かりませんが、大学生が運営する大学生のための団体です)
<http://www.jpdu.org/>
- ◆ 東京大学英語ディベート部 (University of Tokyo Debating Society)
(大会参加報告などのブログ記事が充実しています。大学の英語ディベート部の雰囲気がよく分かります)
<https://sites.google.com/site/utdskomaba/>

著者の紹介

小林 良裕 (KOBAYASHI, Yoshihiro)

東京大学大学院 総合文化研究科 修士課程修了

東京学芸大学大学院 教育学研究科 修士課程修了

東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 博士課程在籍

豊島岡女子学園中学高等学校 教諭

東京大学英語ディベート部 創部者の1人

一般社団法人日本高校生パラメンタリーディベート連盟 理事



■ 英語ディベート 練習ハンドブック[即興型]

An Introduction to Debating in English

[Book 4] Practicing Parliamentary Debate

2015 年 1 月 20 日 初版発行

2021 年 10 月 5 日 電子書籍版 発行

制作 小林良裕 (S.A.D. Works)

発行 S.A.D. Works